

那珂川市 中小企業振興条例に基づく アンケート調査結果報告書

令和8年6月

地域振興部地域振興課

目 次

I アンケート調査の概要	P3～4
II 市内事業者	P5～14
III 現在、仕事をしている人	P15～28
IV 現在、仕事をしていない人	P29～34
V 学生（小学生以上）	P35～39

[注記]

- ・本報告書は、アンケート結果の集計及び自由記述の整理を行い、回答内容から読み取れる傾向を取りまとめたものです。
- ・構成比（％）は小数点以下を四捨五入しているため、合計が 100％にならない場合があります。
- ・複数回答可の設問は、回答件数を集計しているため、回答者数とは一致しません。
- ・回答者数が少ない設問や属性については、参考値として取り扱っています。
- ・自由記述は、回答者の意見を趣旨が変わらないよう要約・整理している。個人や事業者が特定されるおそれのある内容や、公表に適さない内容については、一部を修正または掲載していない。

I アンケート調査の概要

1. 調査の趣旨

本調査は、本市産業の現状や課題、市民ニーズを把握し、今後の中小企業振興施策の検討に活用することを目的に実施した。

地域の事業者からの意見も踏まえ、地域の実情に即した設問内容となるよう工夫した。

2. 調査の方法

(1) 対象者

- ①商工会会員等市内事業者
- ②現在、仕事をしている人
- ③現在、仕事をしていない人
- ④学生（小学生以上）

(2) 調査方法 Googleフォーム（WEBアンケート）

(3) 調査期間 令和8年1月25日～令和8年3月22日

(4) 調査主体 那珂川市地域振興部地域振興課、那珂川市商工会

3. 調査票の配布及び回収結果

(1) 周知方法

- ①チラシの配布（商工会会員、市内公共施設、市内幼稚園・保育園）
- ②広報なかがわ2月号・3月号
- ③市公式LINE
- ④市公式ホームページ

(2) 回収結果

対象者	回答数
①市内事業者	30社（31人）
②現在、仕事をしている人	156人
③現在、仕事をしていない人	12人
④学生（小学生以上）	6人

4. 調査のねらい

(1) 市内事業所

市内の事業者を対象に、経営の課題と地域との連携への意向を把握する

(2) 現在、仕事をしている人

働いている市民を対象に、現在の就業状況や市の将来に対する考えを把握する

(3) 現在、仕事をしていない人

現在仕事をしていない市民を対象に、働いていない理由や就労に向けた条件等を把握する

(4) 学生

次世代を担う小・中・高校生や大学生などを対象に、地元への意識や、将来の就業に対する考えを把握する

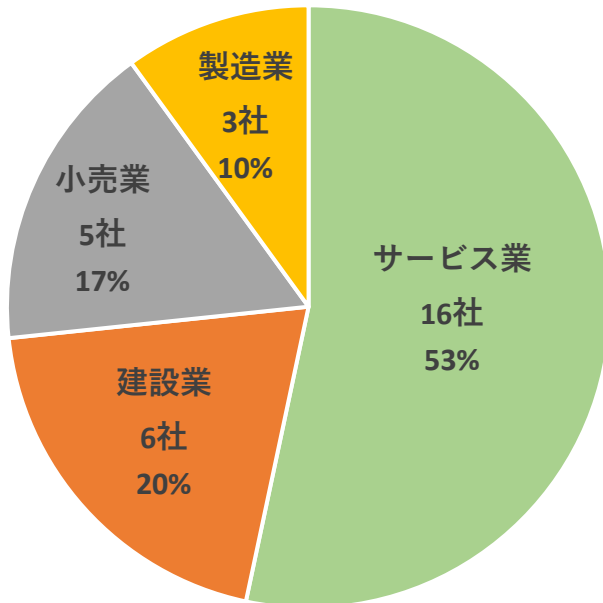
1 回答者の概要

(1)業 種

①回答結果

回答事業者 30 社の業種構成では、「サービス業」が 16 社（53%）で最も多く、次いで「建設業」が 6 社（19%）、「小売業」が 5 社（16%）、「製造業」が 3 社（10%）であった。

サービス業については、多様な業種から回答が得られており、幅広い事業者の意見を把握することができた。



●「サービス業」の内容

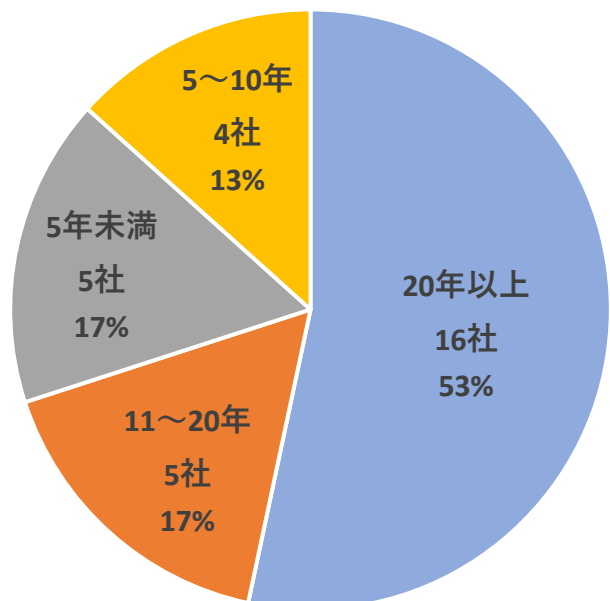
- ・自動車（販売・修理・板金・車検）
- ・ビルメンテナンス事業
- ・広告制作、ウェブ制作・デザイン
- ・土業
- ・生命保険営業、保険・証券
- ・NPO法人（スポーツ普及）
- ・飲食業
- ・情報通信（システム開発）
- ・運輸通信
- ・コンサルティング業 等

(2)創業年数

①回答結果

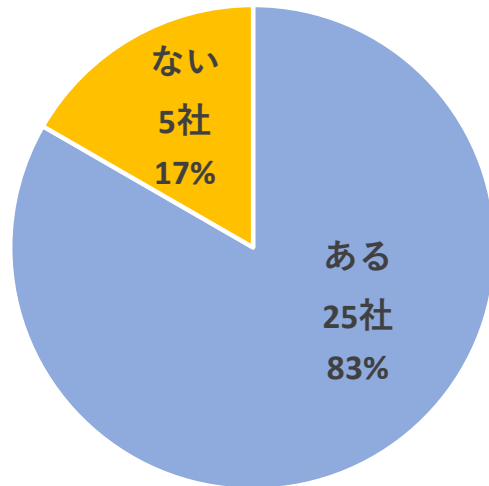
回答事業者 30 社のうち、創業 20 年以上の事業者が 16 社（53%）と最も多く、半数以上を占めた。

次いで、創業 10 年未満の事業者が 9 社（30%）となっており、創業間もない事業者から長年地域で事業を営む事業者まで、幅広い事業者から回答が得られた。



2 アンケート結果

(1) 企業理念



①回答結果

(理念の有無)

回答事業者 30 社のうち、「企業理念がある」と回答した事業者は 25 社 (84%) と全体の 8 割を超え、「企業理念がない」と回答した事業者は 5 社 (17%) であった。

企業理念の内容を次のとおり分類・整理した。

(2) 企業理念の内容

分類	内容 (要約)
地域との関わり	地域に根ざした企業、地域の活性化、地域とともに成長する企業など
社会貢献	地域社会への貢献、社会に役立つ企業を目指すなど
顧客・取引先との信頼	お客様との信頼関係、安心・満足の提供など
品質・技術	品質向上、技術力の向上、専門性の発揮など
成長・挑戦	継承、挑戦、未来に向けた企業づくりなど
社員・従業員	従業員の成長、働きがい、幸せなど

①回答結果

企業理念があると回答した 25 社から回答が寄せられた。

回答内容を分類したところ、「地域」に関する内容が最も多く、次いで「社会貢献」「顧客・取引先との信頼」に関する内容が多くみられた。

企業理念には様々な表現が用いられているものの、地域との関わりや社会への貢献、顧客との信頼関係などを重視する傾向がみられた。

その一方で、次の設問では、人材不足やコスト増加など、経営環境に関する現実的な課題も多く挙げられた。

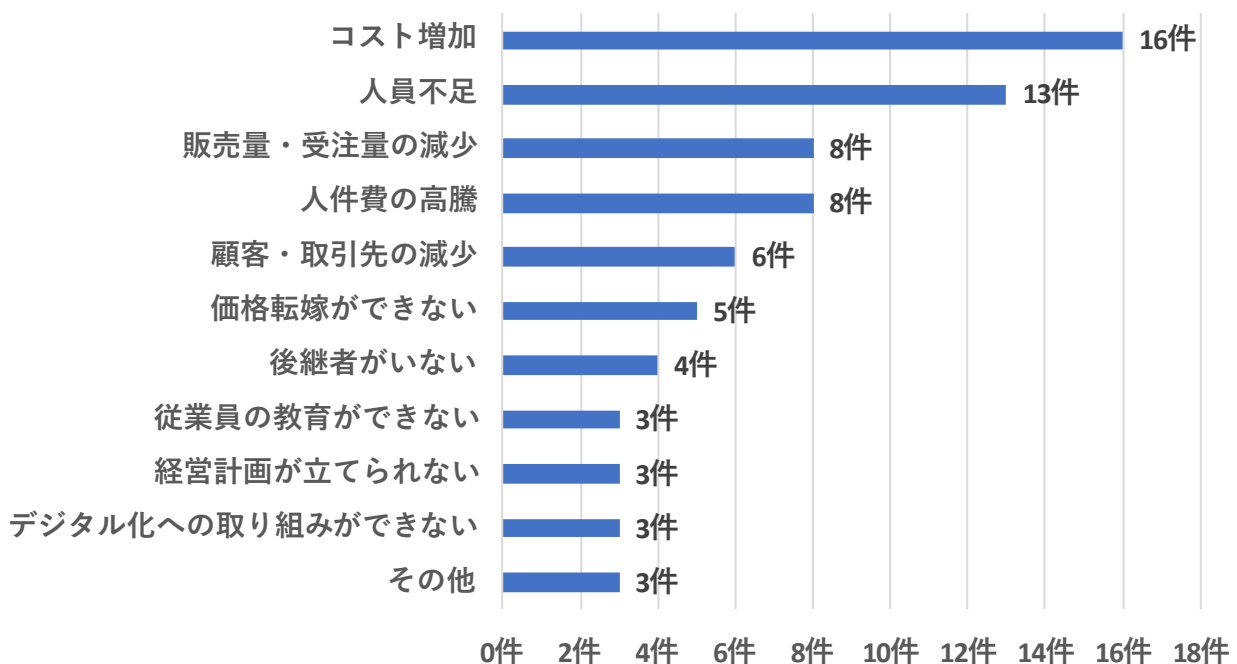
(2) 直近3年間の経営状況の課題(3つまで選択)

①回答結果

「コスト増加」が15件と最も多く、回答事業者の50%が課題として挙げた。

次いで、「人員不足」が13件、「人件費の高騰」及び「販売量・受注量の減少」がそれぞれ8件、「顧客・取引先の減少」が6件となった。

業種は多様であるが、多くの事業者に共通する経営課題が見られた。



●「その他」の内容

- ・創業期
- ・業界の変化や規制
- ・先進的なサービスへの理解はあっても、導入につながらない

経営課題として「人員不足」を挙げた事業者に対し、次の設問ではその要因を尋ねている。

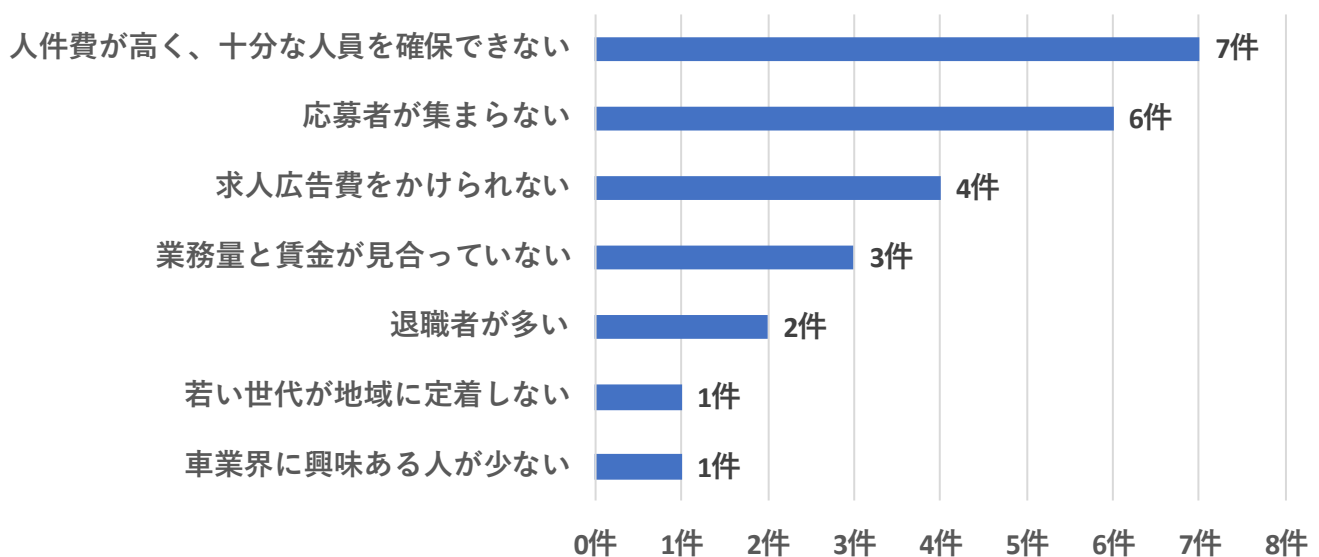
(3) 人員不足の要因 (3つまで選択)

※対象：設問(2)で「人員不足」を経営課題として選択した 13 社

① 回答結果

人員不足の要因については、「人件費が高く、十分な人員を確保できない」が 7 件で最も多く、次いで「応募者が集まらない」が 6 件、「求人広告費をかけられない」が 4 件、「業務量と賃金が見合っていない」が 3 件となった。

人員不足の要因としては、人件費や採用活動に関する課題に加え、業種や地域の特性に関する回答もみられ、複数の要因が挙げられた



一方、『現在、仕事をしている人』のアンケート結果では、市外で働く理由として「希望する仕事が少ない」「求人情報が少ない」などの回答がみられた。

『現在、仕事をしていない人』のアンケート結果では、仕事をしていない理由として「働きたいが仕事が見つからない」「就活中」との回答がみられた。また、12 人中 10 人が「市内で働きたい」と回答している。

人材不足を課題として挙げた事業者の業種や、その要因に大きな偏りはみられなかったことから、人材確保は特定の業種だけでなく、市内事業者全体に共通する課題であることがうかがえる。

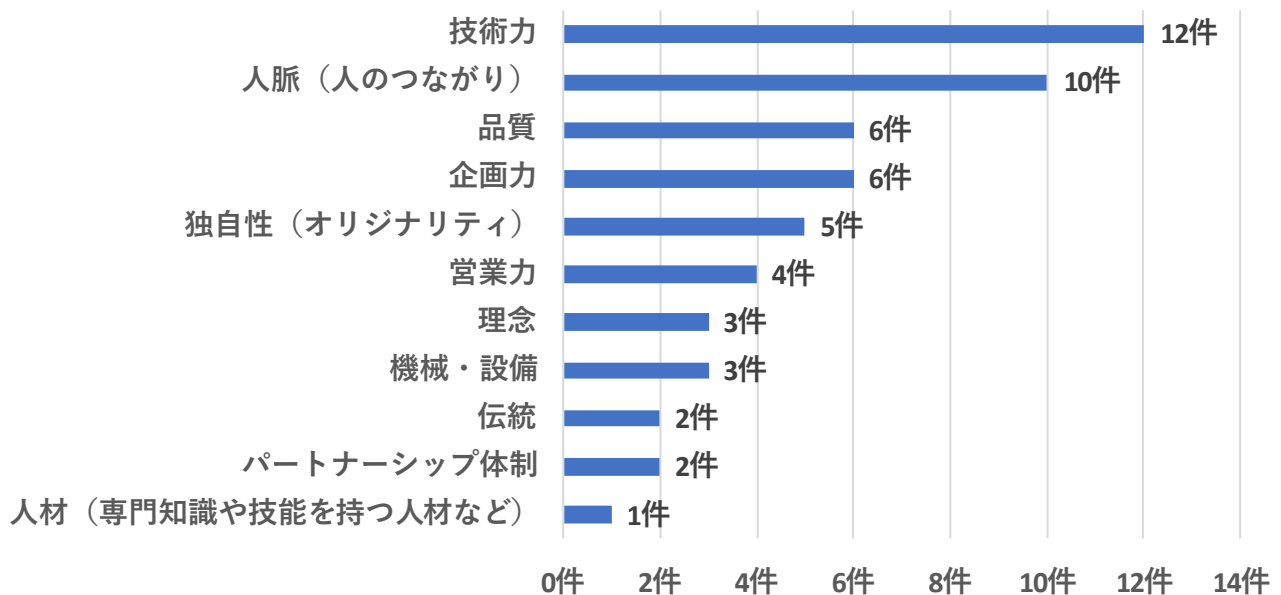
企業側では人材不足を課題とする事業者が多い一方、求職者側では仕事や求人情報を求める声が見られたことから、市内事業者と求職者とのマッチングや情報発信の充実が求められる結果となった。

(4)他社や地域との連携における「強み」(2つまで選択)

①回答結果

「技術力」が最も多く、次いで「人脈（人のつながり）」、「品質」、「企画力」、「独自性（オリジナリティ）」が多く挙げられた。

また、「営業力」、「機械・設備」、「理念」、「パートナーシップ体制」、「伝統」、「人材（専門知識や技能を持つ人材など）」など、多様な強みが回答されており、事業者ごとにそれぞれの強みを生かした取組が期待される。

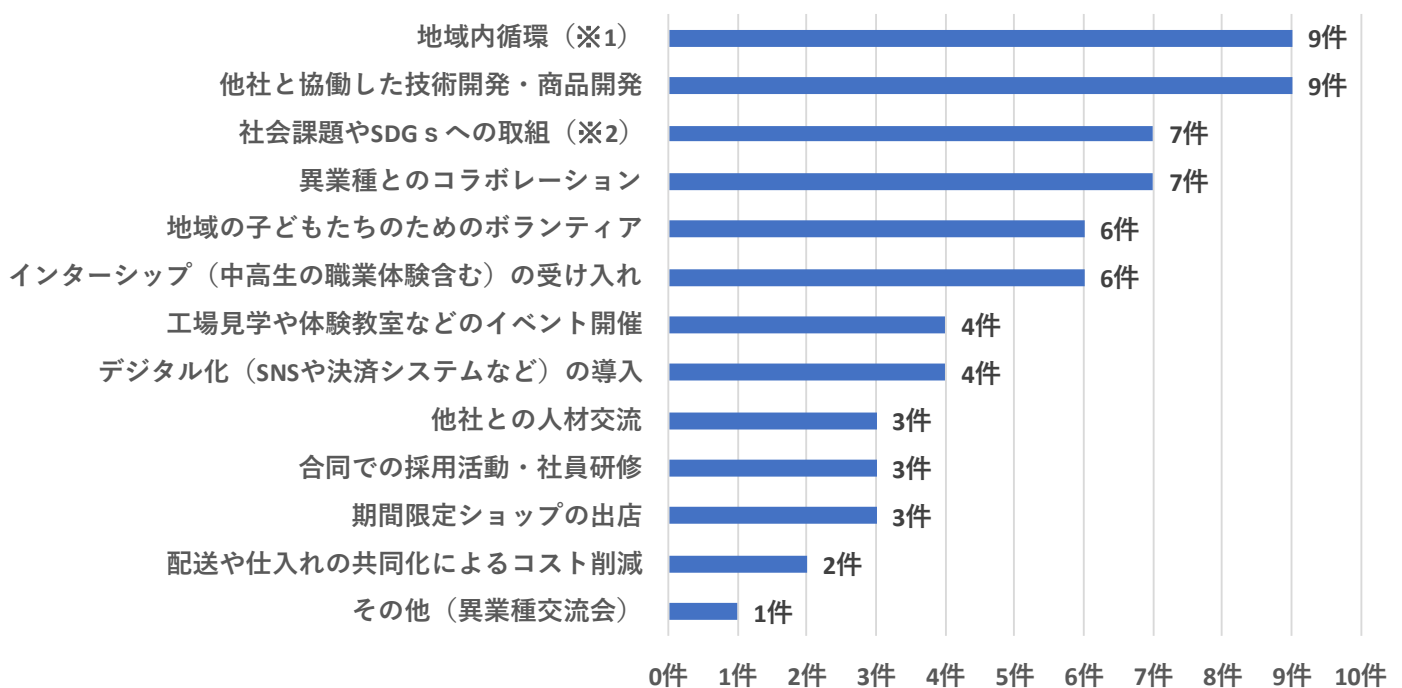


(5) 関心のある事業 (3つまで選択)

①回答結果

「他社と協働した技術開発・商品開発」及び「地域内循環」がそれぞれ 9 件で最も多く、次いで「異業種とのコラボレーション」及び「社会課題や SDGs への取組」がそれぞれ 7 件、「インターンシップ（中高生の職業体験を含む）の受け入れ」が 6 件となった。事業者間の連携や人材育成に関する取組にも一定の関心がみられた。

関心のある取組は一つの分野に集中するのではなく、技術開発、地域との連携、人材育成、社会課題への対応など、多様な分野にわたる結果となった。



(※1) 地域内循環：自分たちの街のものを大切に使い、自分たちで作り、みんなで助け合う仕組みづくり

(※2) 社会課題やSDGsへの取組：CO2削減やリサイクル事業など

前の設問での「自社の強み」を、地域や他者との連携、社会貢献に生かそうとする姿勢がうかがえる。

(6)自由に市の予算を使えるとしたら ※自由記述（全文は巻末資料に掲載）

①回答結果

自由記述を分類したところ、「企業誘致」に関する提案が最も多くみられた。次いで、「地域内経済循環」、「子育て支援・教育」、「交通・インフラ整備」、「DX・IT化」、「宿泊・観光」などに関する提案が寄せられた。

また、一部の回答では、JR 博多南駅や地域資源を活用したまちづくり、市内で人・仕事・お金が循環する仕組みづくりなど、具体的な提案もみられた。

②分類結果

分類	割合（概数）
企業誘致	19%
地域内経済循環	10%
子育て・教育	10%
交通・インフラ	10%
観光・宿泊・交流	10%
DX・IT化	6%
その他	35%

③主な意見（要約）

自由記述では、次のような意見が多く寄せられた。

【企業誘致】

- ・企業誘致による雇用の創出
- ・製造業や成長産業の誘致
- ・市外から人や投資を呼び込む取組
- ・アリーナ整備や特産品開発とあわせた企業誘致

【地域内経済循環】

- ・市内に必要なものを市内でつくり、市内で消費する仕組みづくり
- ・市内事業者同士が連携し、新たな商品や事業を生み出す機会の創出
- ・実証実験やお試し事業など、新しい挑戦ができる環境づくり

【子育て・教育】

- ・子育てしやすい環境づくり
- ・教育環境や子どもの居場所の充実

【交通・インフラ】

- ・道路や公共交通の充実
- ・駅周辺の利便性向上
- ・インフラ整備による企業活動の支援

【観光・宿泊・交流】

- ・五ヶ山など地域資源を活用した観光振興
- ・宿泊施設の整備
- ・交流人口の拡大

【DX・IT化】

- ・行政や地域サービスのデジタル化
- ・AI や IT を活用したまちづくり

【その他】

- ・農業振興
- ・景観づくり
- ・文化・芸術の振興
- ・市の認知度向上

(7)市への期待～現在～ ※自由記述（全文は巻末資料に掲載）

①回答結果

自由記述を内容ごとに分類したところ、「人口増加・定住促進」に関する意見が最も多く、約 3 割の事業者から寄せられた。

次いで、「企業誘致・産業振興」、「交通・アクセスの充実」、「地域資源や地域の魅力の活用・情報発信」に関する意見が多くみられた。また、「子育て環境の充実」、「商業機能の充実」、「景観形成」、「空き家活用」、「文化・芸術」など、多様な視点からの意見も寄せられた。

②分類結果

分類	割合（概数）
人口増加・定住促進	32%
企業誘致・産業振興	16%
交通・アクセスの充実	16%
地域資源・魅力発信	16%
子育て・教育環境	10%
その他（景観、商業、文化など）	10%

③主な意見（要約）

自由記述では、次のような意見が多く寄せられた。

【人口増加・定住促進】

- ・人口を増やし、まち全体に活気を生み出すこと
- ・人が集まり、消費が増え、地域経済が潤うまち
- ・学生でにぎわい、住んでいることを誇れるまち
- ・若い世代が住みたくなるまちづくり
- ・空き家の活用による定住促進

【企業誘致・産業振興】

- ・企業誘致による雇用の創出
- ・市内事業者同士が連携し、新たな商品や事業を生み出す仕組みづくり
- ・実証実験や「お試し」に挑戦しやすい環境づくり
- ・事業者同士がつながる情報発信や交流の場の充実

【交通・アクセスの充実】

- ・道路や交通インフラの整備
- ・アクセスしやすいまちづくり
- ・公共交通の利便性向上
- ・夜間も人が集まりやすい交通環境

【地域資源・魅力発信】

- ・森林や水辺など自然資源の活用
- ・地域資源を生かした取組
- ・地元商店や地域資源の積極的な情報発信
- ・住宅都市だけでなく、心身を癒やす魅力あるまちづくり

【その他】

- ・商業施設や店舗の充実
- ・景観の向上
- ・文化・芸術の振興

(8)市への期待～10 年後～ ※自由記述（全文は巻末資料に掲載）

①回答結果

「人が集まり、にぎわいのあるまち」を描いた回答が最も多くみられた。

次いで、「自然と都市の調和」、「企業や人がつながるまち」、「子どもや若者が活躍するまち」、「新しい挑戦やイノベーションが生まれるまち」など、多様な将来像が示された。

また、「農業振興」、「スポーツ・観光」、「文化・芸術」、「笑顔で暮らせるまち」など、地域資源や暮らしの豊かさに着目した回答もみられた。

②分類結果

分類	割合（概数）
人口増加・にぎわい	26%
自然と都市の調和	16%
企業・人のつながり	13%
子ども・若者・教育	13%
挑戦・イノベーション	10%
その他	22%

③主な意見（要約）

自由記述では、次のような意見が寄せられた。

【人口増加・にぎわい】

- ・若い世代が移住し、人口が増えている
- ・大型商業施設や店舗が立地し、多くの人でにぎわう
- ・市民が那珂川市を誇りに思えるまち
- ・他市にはない施設や魅力で交流人口が増えている
- ・五ヶ山など地域資源を活用し、レジャーやスポーツでにぎわう
- ・宿泊を伴う観光客が訪れる

【自然と都市の調和】

- ・都市機能と豊かな自然が共存するまち
- ・農業と共生するまち
- ・自然エネルギーを活用した持続可能なまち
- ・自然・歴史・食を目的に世界中から人が訪れる

【企業・人のつながり】

- ・企業同士が連携し、新たな地場産業が生まれるまち
- ・人・技術・アイデアがつながり、新しい価値が生まれるまち
- ・朝市やマルシェなど、多世代が交流できる場の充実

【子ども・若者・教育】

- ・高校や大学など教育環境の充実
- ・子どもの遊び場や居場所の充実

【挑戦・イノベーション】

- ・新しい発想や挑戦が次々と生まれる
- ・イノベーションや社会実験を積極的に受け入れる
- ・世界に誇れる特色あるまちづくり

【その他】

- ・笑顔で安心して暮らせるまち
- ・子どもから高齢者まで誰もが充実した生活を送れる

3 事業所アンケートの総括

今回のアンケートでは、企業理念について、「地域との関わり」「社会貢献」「顧客・取引先との信頼」を重視する企業が多くみられた。

一方で、経営上の課題としては、「コスト増加」や「人員不足」が多く挙げられ、事業継続に向けた現実的な課題を抱えている状況がうかがえた。

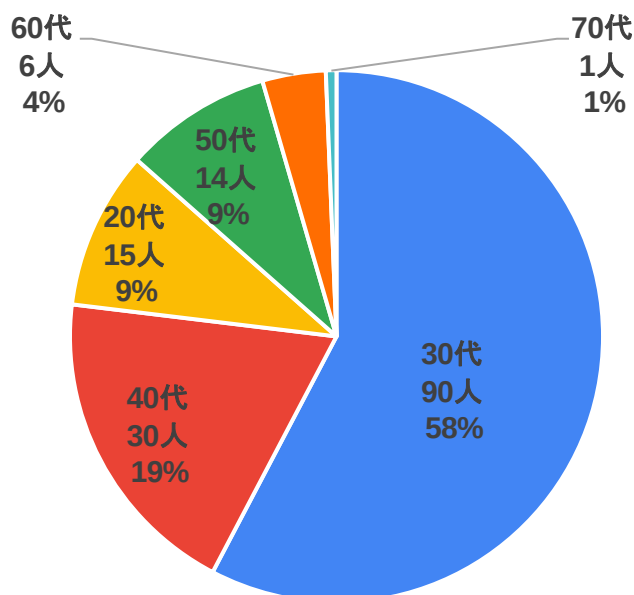
また、他社や地域との連携においては、「技術力」「人脈」「品質」など、それぞれの企業が強みとなる資源を有していることが確認された。

さらに、関心のある取組として、技術開発や商品開発、地域内循環、異業種との連携などが多く挙げられており、自社の強みを生かした企業間連携や地域との関わりに対する関心がみられた。

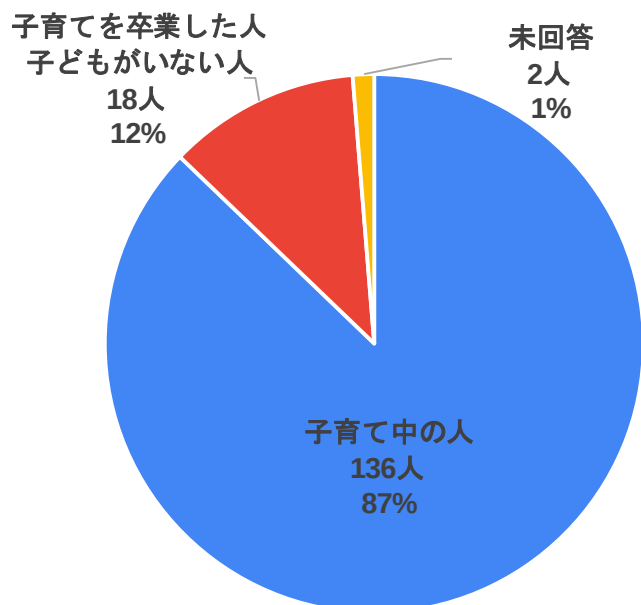
以上のことから、回答事業者からは、地域への思いを持ちながら経営課題に向き合い、それぞれの強みを生かした連携や新たな取組への関心がうかがえる結果となった。

1 回答者の概要

(1)年 代



(2)子育て状況の別



①回答結果

年代は、30代の回答が最も多く、全体の半数以上を占めている。

就労している人の約9割が子育て中と回答している。

年代と子育て状況には一定の関連がみられ、30～40代では子育て中の回答者が多く、50代以降では子育てを卒業した人・子どもがいない人の割合が高くなっている。

②子育て状況別の人数

年代	子育て中	子育て卒業 又は 子どもがいない	未回答
20代	14人	1人	
30代	88人	1人	1人
40代	29人	1人	
50代	5人	9人	
60代		6人	
70代			1人
合計	136人	18人	2人

2 アンケート結果

(1)市内情報（新しいお店や地元産業）の入手方法（3 個まで選択）

①回答結果

回答者 156 人のうち 127 人（81％）が「SNS」を選択しており、最も多かった。

次いで、「立地予定地の看板」が 64 人（41％）、「口コミ」59 人（38％）、「市の広報紙」が 52 人（33％）となった。

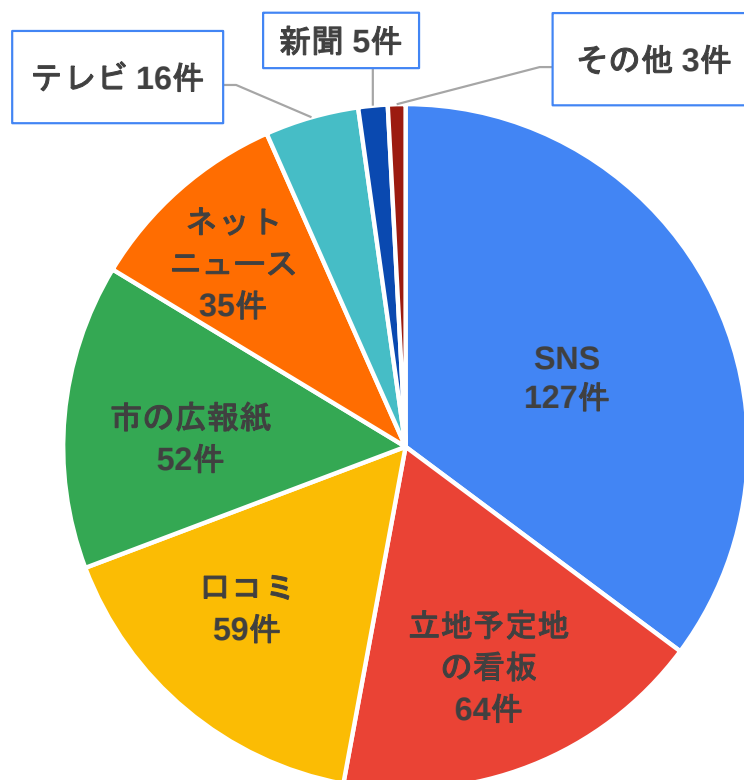
SNS の利用が特に高い一方で、立地予定地の看板や口コミ、市の広報紙も一定数利用されており、複数の媒体を活用して情報を得ていることがうかがえる。

②年代別の傾向

年代別にみると、20～40 代ではいずれの年代も SNS が最も多く利用されており、情報入手方法に大きな違いは見られなかった。

③子育て状況別の傾向

子育て状況別にみると、子育て中・子育てを卒業した人等のいずれも SNS が最も多く利用されており、大きな傾向の違いは見られなかった。



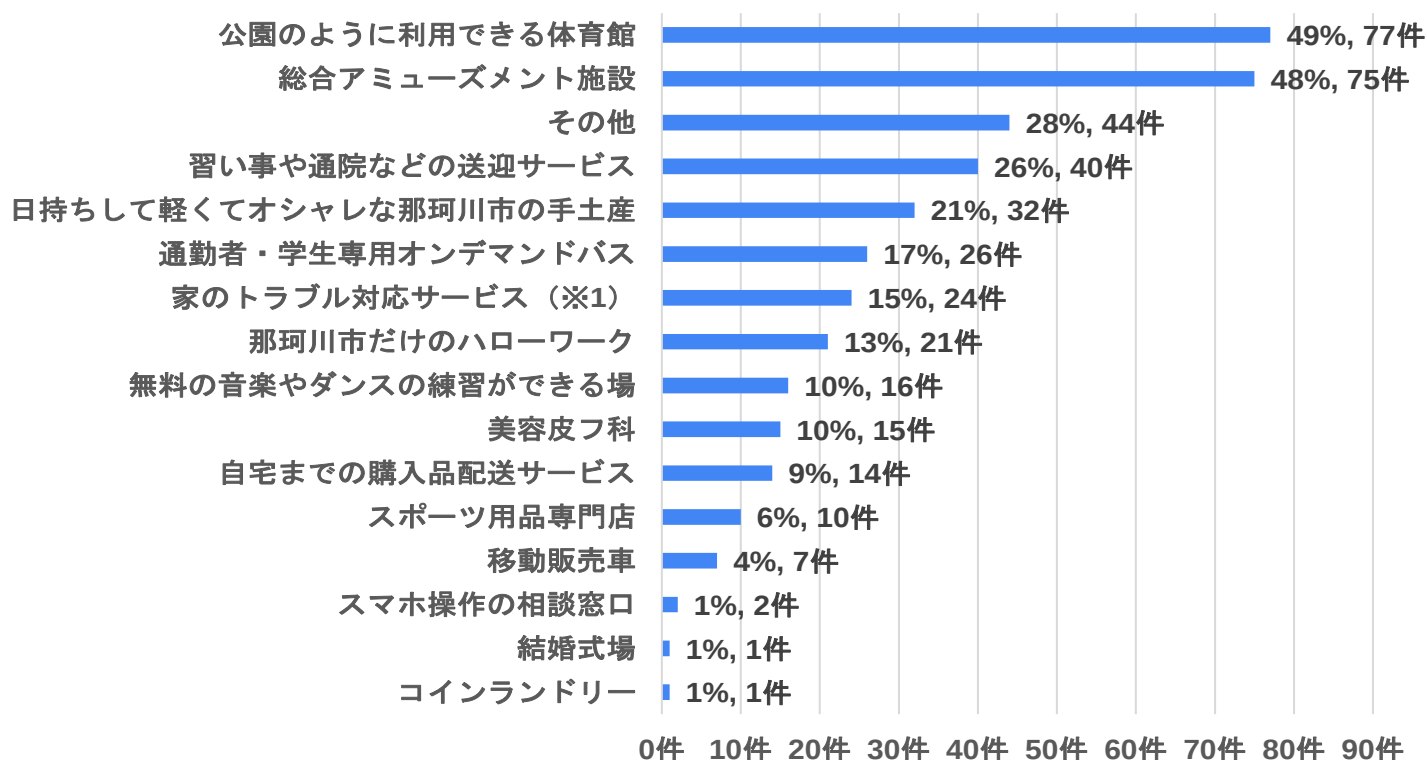
(2)市内にあったらいいサービス、買えたらいい商品 (3 個まで選択)

①回答結果

回答者 156 人のうち 77 人 (49%) が「公園のように利用できる体育館」と回答し、次いで「総合アミューズメント施設」が 75 人 (48%) であった。市外へ出掛けなくても、市内で友人や家族と気軽に楽しめる場所、交流の場所の設置を求めていることがうかがえる。

子育て中の人は、子どもと利用できる施設やサービスを求める傾向がみられた。

一方、子育てを卒業した人等は、手土産となる商品や日常利用できるサービスへの関心がみられた。



(※1) 電気の取り換え・エアコン掃除・草むしりなど

●「その他」の内容

・書店・本屋 (大型書店を含む)	14 人
・公園や遊び場の充実 (※2)	11 人
・店舗の充実 (※3)	7 人
・交通サービスの充実 (※4)	4 人
・皮膚科	2 人
・子ども用品店	2 人
・家事代行・住宅トラブル対応	2 人

(※2) 大型遊具、屋内施設、乳幼児向け、安心感、キャンプ・アスレチック・ピクニックができる場等

(※3) 衣料品店、飲食店、カフェ、無農薬野菜・米販売店、直売所 (道の駅) 等

(※4) 送迎バス、のるーと、チャリチャリ、コインパーキング等

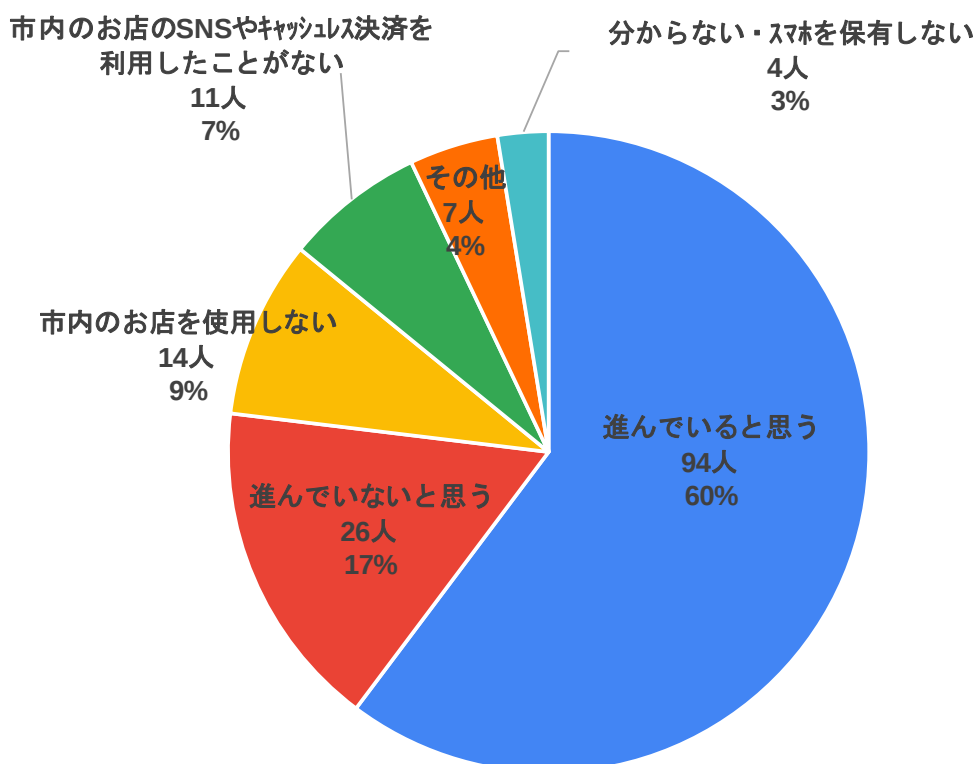
(3)市内店舗のデジタル化 (SNS やキャッシュレス決済)

①回答結果

「進んでいると思う」が最も多く、回答者の約6割が市内店舗のデジタル化が進んでいると感じている。

一方で、「進んでいないと思う」と回答した人も一定数いる。

年代別、子育て状況の別で、特に大きな差はみられなかった。



●「その他」の内容

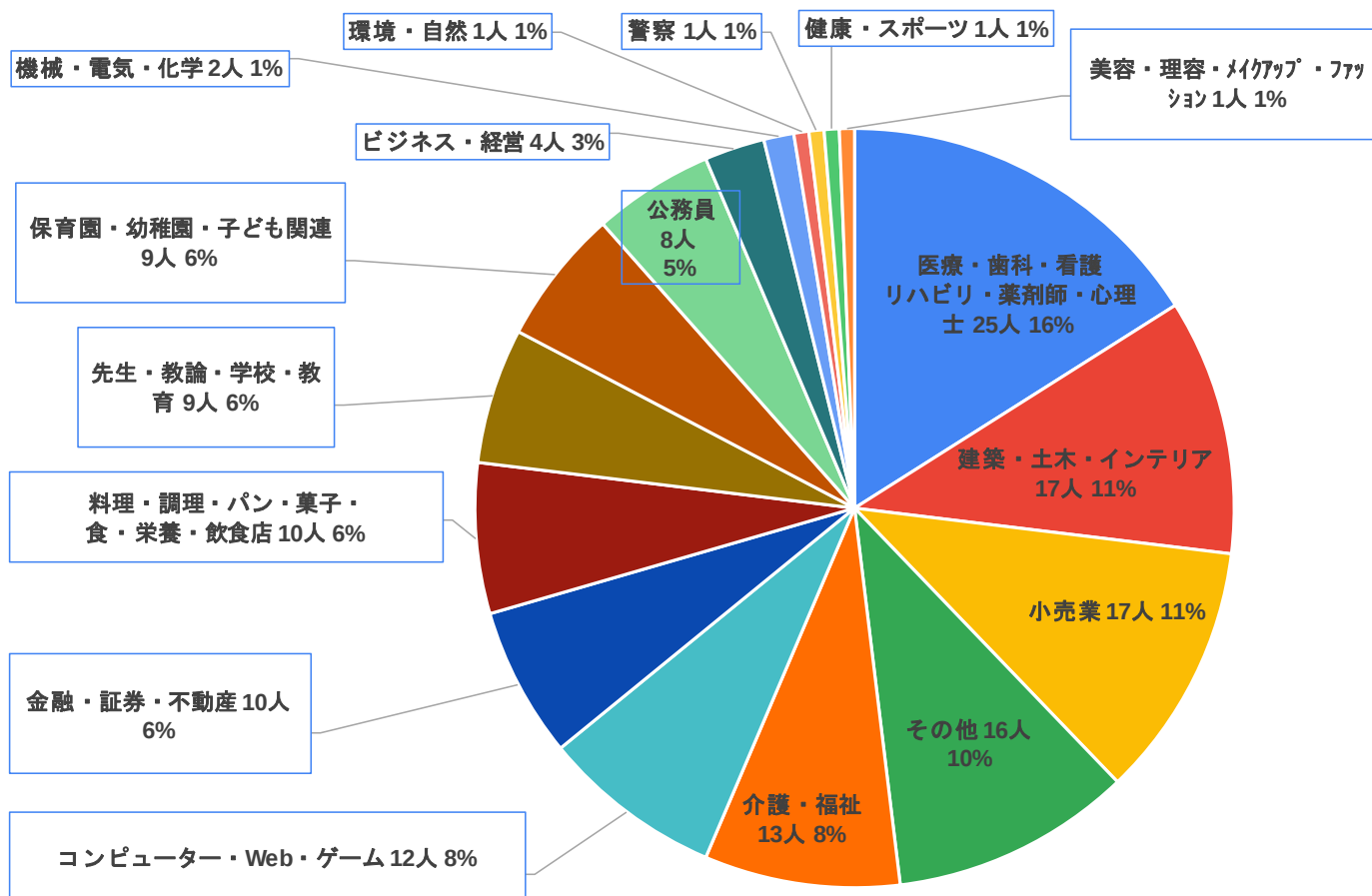
- ・デジタルばかりでついていけない
- ・キャッシュレス決済をもっと増やしてほしい
- ・ネット予約を増やしてほしい
- ・紙のポイントカード廃止
- ・進んではいると思うが、利用できる決済手段が限られている店舗がある
- ・特に不便がない
- ・場所によると思う
- ・興味がない
- ・普通だと思う

(4)就業分野

①回答結果

回答者の就業分野は多岐にわたっており、「医療・歯科・看護・リハビリ・薬剤師・心理士」が最も多く、次いで「建築・土木・インテリア」、「小売業」、「介護・福祉」の順となった。

また、製造業、飲食業、情報通信業、保育・教育関係など幅広い業種から回答が得られている。



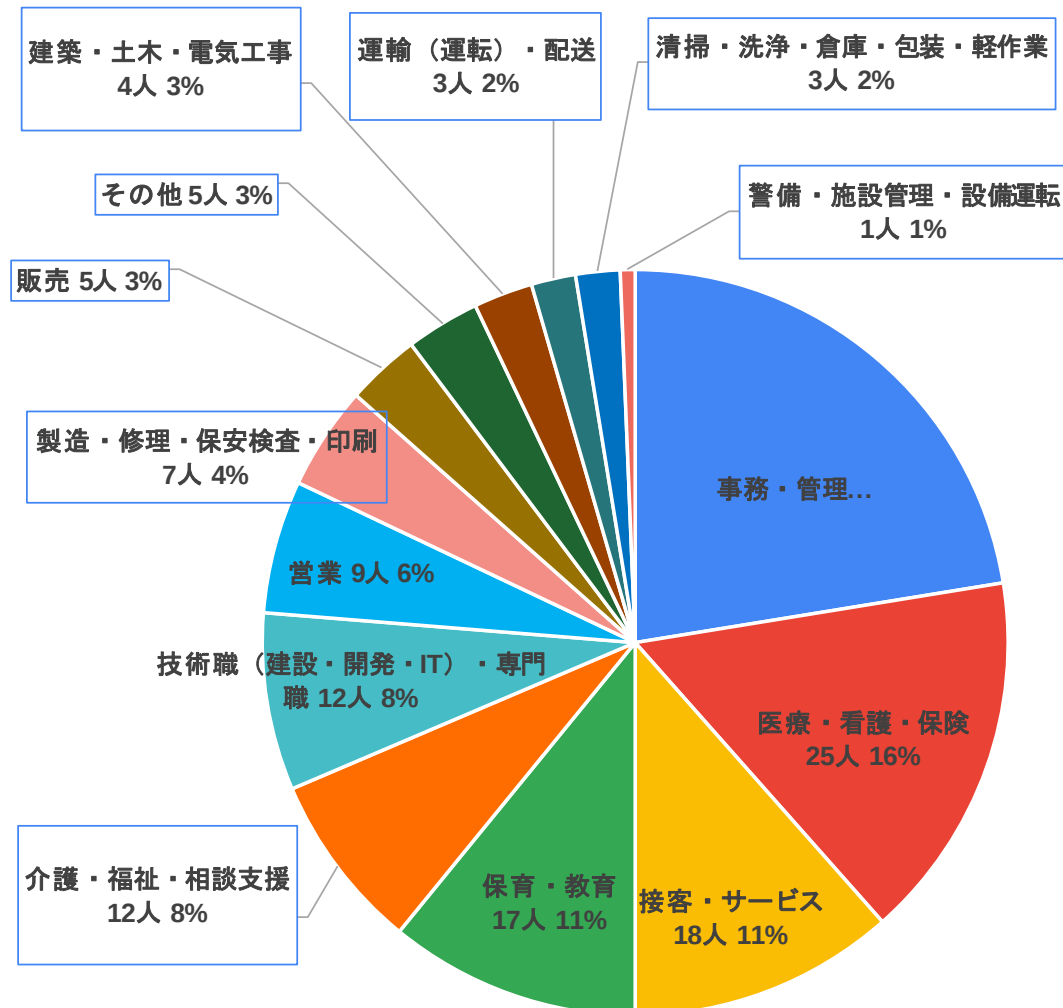
<Ⅲ 現在仕事をしている人>回答者 156 人(子育て中:136 人、それ以外 18 人、未回答 2 人)

(5)職 種

①回答結果

「事務・管理職」が最も多く、次いで「医療・看護・保健」、「接客・サービス」、「保育・教育」が続いた。

技術職や営業、介護・福祉など、多様な職種から回答が寄せられた。



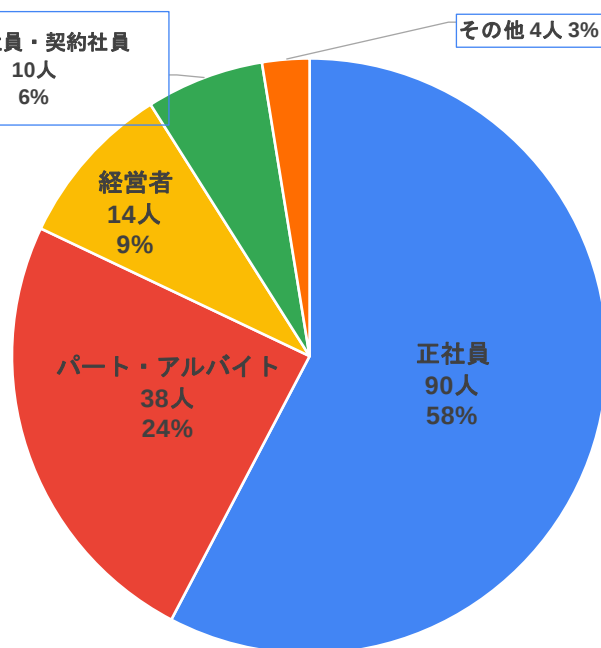
(6)雇用形態

①回答結果

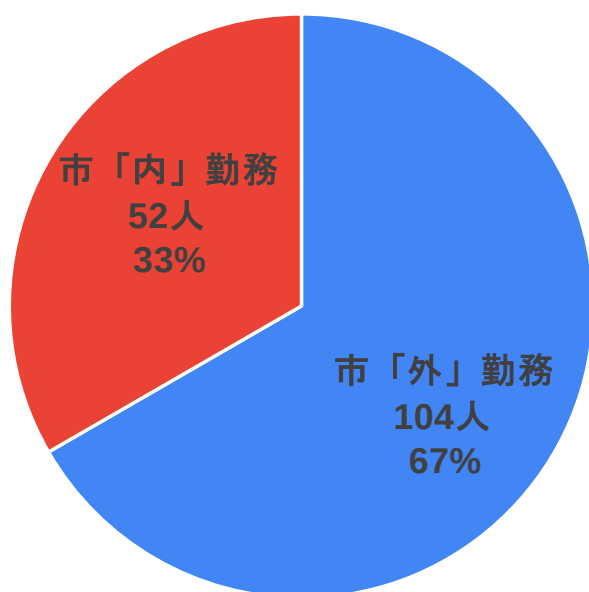
「正社員」が最も多く、次いで「パート・アルバイト」が多い結果となった。

また、年代別では若い世代を中心に正社員の割合が高い傾向がみられた一方、年代が上がるにつれて自営・経営者やパート・アルバイトなど、多様な働き方もみられた。

子育て状況では大きな傾向の違いはみられず、いずれも正社員が最も多い結果となった。



(7)勤務地



①回答結果

勤務地は、市外が市内を上回る結果となった。

年代別・子育て状況別でも同様の傾向がみられた。

(8)どのようにして職を探したか

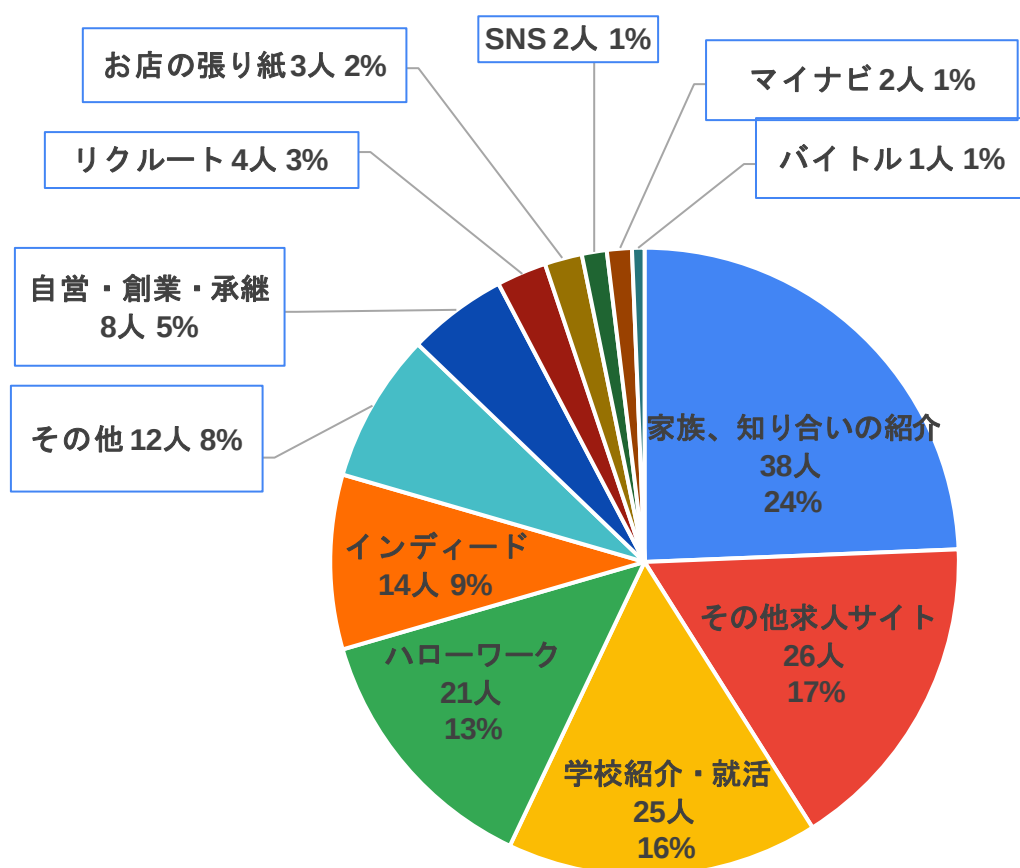
①回答結果

最も多かったのは「家族・知人の紹介」であった。

次いで、「その他求人サイト」「学校紹介・就職活動」「ハローワーク」順となった。

「その他求人サイト」「インディード」「リクルート」「マイナビ」「バイトル」などの民間求人サイト・求人サービスを利用した回答を合計すると 47 人（30％）となる。

「家族・知人からの紹介」などの従来型の就職経路も多く利用されている一方で、民間求人サイト・求人サービスを利用した経路も多く、就職活動においてインターネットの活用が広がっていることがうかがえる。



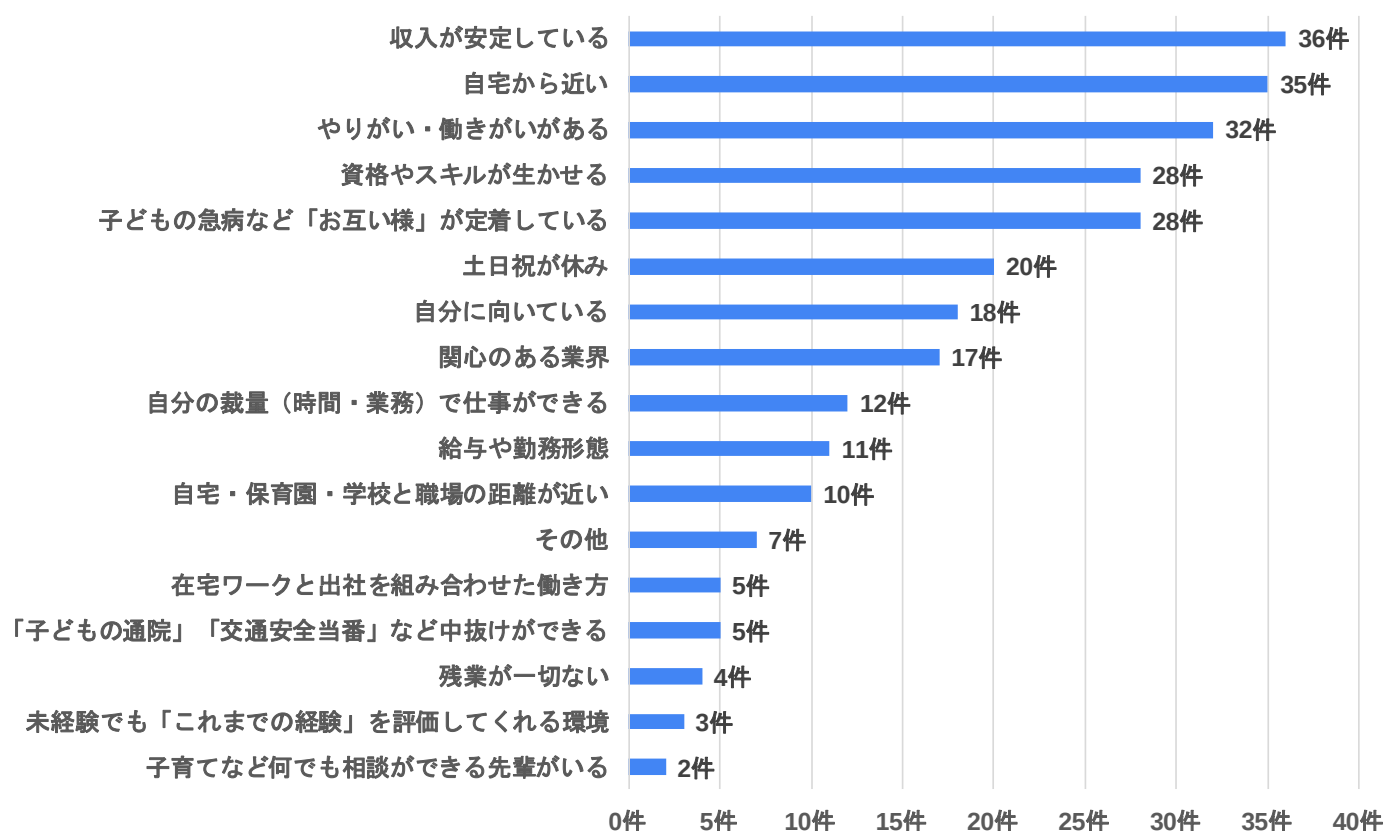
(9)現在の仕事を選んだ理由・条件 (2 個まで選択)

①回答結果

『子育て中の人』の回答では、「収入が安定している」や「やりがい・働きがいがある」、「自宅から近い」などが多く選択された。

また、「子どもの急病など『お互い様』が定着している」、「自宅・保育園・学校と職場の距離が近い」など、仕事と子育ての両立を支える職場環境に関する項目も多く選択された。

『子育てが終了した人・子どもがいない人』の回答では、「収入が安定している」や「やりがい・働きがいがある」「自分に向いている」「自分の裁量で仕事ができる」などが多く選択された。



●「その他」の内容

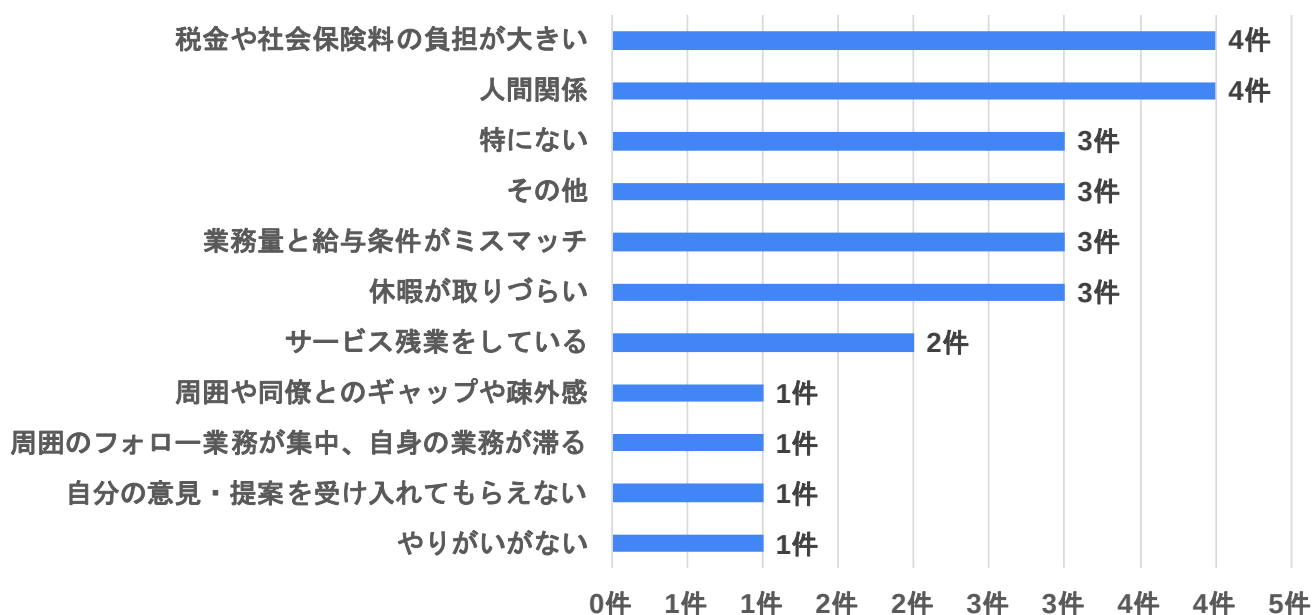
- ・ 家族・親族の会社
- ・ 前職との類似性
- ・ 特に理由はない、ずっと働いているため

(10)仕事への不満 (2 個まで選択)

※対象：子育てをしていない人・子どもがいない人と回答した 18 人

①回答結果

現在の仕事に対する不満や改善点として、「給与・賃金」「休日・休暇」「人手不足」「勤務時間・労働条件」に関する回答が多くみられた。また、「特にない」とする回答も一定数あり、現状に満足している人も見受けられた。



●「その他」の内容

- ・職場が遠い
- ・まだわからない
- ・契約なので、いつまで働けるかと心配

(10)市外で働いている理由

※対象：子育てをしていない人・子どもがいない市外で働く人 13 人

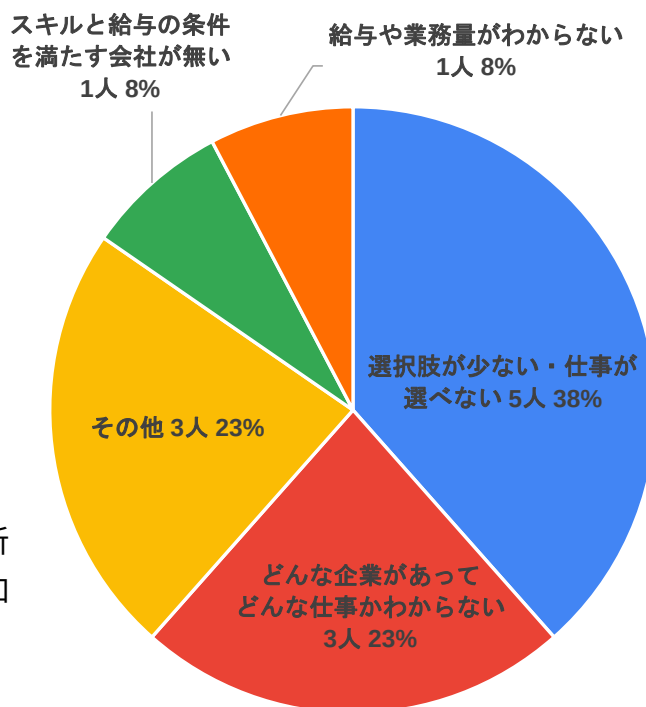
①回答結果

市内で働かない理由として、「希望する仕事の選択肢の少なさ」や、「市内企業・仕事内容に関する情報不足」を挙げる回答が多くみられた。

一方で、業種や通勤環境など、個々の働き方や価値観による理由もみられた。

●「その他」の内容

- ・業種的にも福岡市内に本部がある方が良い
- ・以前は支店があったが撤退
- ・住む地域と働く地域は違う。住んでいる場所で働く意味がない。通勤途中が楽しくないし、知り合いが周囲にいと働きにくい。



一方、『市内事業所』のアンケート結果では、「人材不足」を経営課題として挙げる事業者が多くみられた。

企業と求職者双方の結果を合わせてみると、「就業ニーズ」と「企業ニーズ」の間に情報やマッチングに関する課題があることがうかがえる。

(11)自由に市の予算を使えらしたら ※自由記述（全文は巻末資料に掲載）

①回答結果

自由記述（156 人）を内容ごとに分類したところ、「子育て・教育環境の充実」に関する意見が最も多くみられた。次いで、「商業施設・買い物環境の充実」、「公園・遊び場・スポーツ施設」、「公共交通・交通環境の充実」に関する意見が多く寄せられた。

また、企業誘致や雇用創出、観光・地域資源の活用、医療・福祉など、多様な分野への意見もみられ、市民生活の利便性向上と地域経済の活性化の両面を期待する回答が寄せられた。

②主な意見の分類

分類	割合（概数）
子育て・教育環境	約 31%
商業施設・買い物環境	約 14%
公園・遊び場・スポーツ施設	約 14%
公共交通・交通環境	約 14%
観光・地域資源の活用	約 11%
企業誘致・雇用創出	約 8%
医療・福祉	約 3%
その他	約 28%

③主な意見（要約）

自由記述では、次のような意見が寄せられた。

【子育て・教育環境】

- ・子育て支援に予算を
- ・教育費、給食費の無償化
- ・補助金制度、おむつ定期便

【商業施設・買い物環境】

- ・大型商業施設やホームセンター、家具販売店、衣料品・子ども用品店の誘致

【公園・遊び場・スポーツ施設】

- ・公園の充実（大型公園設置、遊具など）
- ・レジャー施設（家族で遊べる屋内施設）

【公共交通・交通環境】

- ・公共交通機関の充実
- ・道路の整備、拡張
- ・南駅までの交通利便性の向上や周辺整備

【観光・地域資源の活用】

- ・イベントの開催
- ・イベント、食べ物フェス
- ・特産品、地産地消
- ・自然魅力発信

【企業誘致・雇用創出】

- ・起業誘致（住宅、資材、工場）
- ・団地建設
- ・スタートアップ支援
- ・商工会連携

【医療・福祉】

- ・高齢単身者用の市営住宅

【その他】

- ・行政サービスの充実や生活負担の軽減
- ・文化芸術によるまちづくり

(12)市への期待～10 年後～

※自由記述（全文は巻末資料に掲載）

①回答結果

「商業施設や買い物環境の充実」に関する意見が最も多くみられた。

次いで、「子育て・教育環境の充実」、「公園・遊び場・スポーツ施設」、「公共交通・交通環境の充実」に関する意見が多く寄せられた。

また、企業誘致や雇用創出、観光・地域資源の活用、医療・福祉、防災・安全など、将来の暮らしや地域の魅力向上に関する多様な意見がみられた。

10 年後の那珂川市には、市民生活の利便性向上に加え、子育てしやすく、安心して暮らせる環境や、市外からも人が集まる魅力あるまちづくりを期待する意見が多く寄せられた。

②主な意見の分類

分類	割合（概数）
商業施設・買い物環境	約 22%
子育て・教育環境	約 20%
公園・遊び場・スポーツ施設	約 15%
公共交通・交通環境	約 13%
企業誘致・雇用・地域経済	約 10%
観光・地域資源の活用	約 8%
医療・福祉	約 4%
その他	約 18%

③主な意見（要約）

自由記述では、次のような意見が寄せられた。

【商業施設・買い物環境】

・大規模商業施設 ・カフェ、本屋 ・なんでもそろうまち ・市内外から集まる

【子育て・教育環境】

・子どもが安心して、のびのび、いきいき遊び学べるまち ・子育て世帯が多いまち

【公園・遊び場・スポーツ施設】

・巨大アミューズメント施設やテーマパーク

【公共交通・交通環境】

・交通網整理（地下鉄、電車など）、拡大 ・市からどこでも行ける

【企業誘致・雇用・地域経済】

・企業が増え税收増 ・地域内での経済循環

【観光・地域資源の活用】

・地産地商 ・市内ですべてまかなえる環境 ・各種イベント開催 ・自然と共生

(13)子育て世帯に向けて充実してほしい商品・サービス

※対象：子育て中の人 136 人

※自由記述（全文は巻末資料に掲載）

①回答結果

子育て中の回答者を対象に自由記述を内容ごとに分類したところ、「子育て支援制度・経済的負担の軽減」に関する意見が最も多くみられた。

次いで、「保育サービス・放課後支援」、「遊び場・交流施設」、「教育・学習環境」に関する意見が多く寄せられた。

また、子ども用品店や商業施設など生活環境の充実、公共交通や防犯対策、保護者への就労支援など、多様な視点からの意見もみられた。

子どもへの支援だけでなく、保護者が安心して子育てと仕事を両立できる環境づくりや、家族で安心して暮らせる生活環境の充実を望む意見が多く寄せられた。

②主な意見の分類

分類	割合（概数）
子育て支援制度・経済的負担の軽減	約 27%
保育サービス・放課後支援	約 24%
遊び場・交流施設	約 18%
教育・学習環境	約 12%
生活環境・子育てしやすいまちづくり	約 10%
その他	約 15%

③主な意見（要約）

自由記述では、次のような意見が寄せられた。

【経済的支援・費用負担の軽減】

- ・給食費や保育料、学費などの負担軽減
- ・施設利用料やレジャー施設の割引
- ・子育て世帯への補助金や手当の充実
- ・子育てに必要な物品への支援

【保育サービス・放課後支援】

- ・保育所や病児保育の充実
- ・保育時間の延長
- ・一時預かりサービスの拡充
- ・安心して預けられる体制づくり

【遊び場・交流施設】

- ・大型遊具のある公園の整備
- ・親子で安心して利用できる施設の整備
- ・屋内で遊べる施設の充実
- ・雨の日でも遊べる環境づくり

【子育て支援全般】

- ・相談体制の充実
- ・子育て情報の充実
- ・子育て世帯同士が交流できる場づくり
- ・行政サービスの利用しやすさ向上

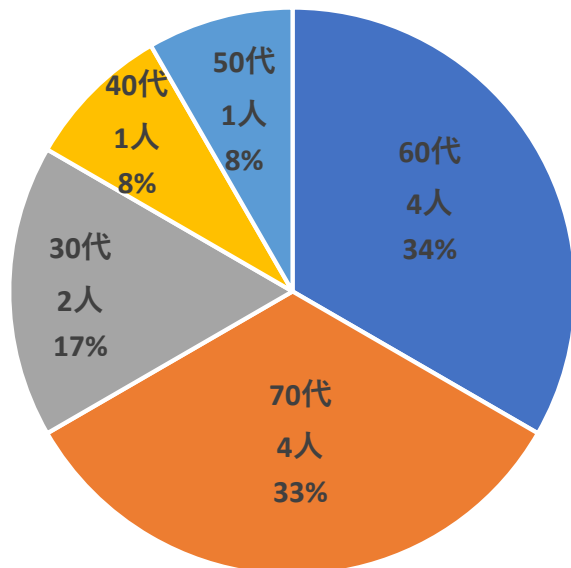
【その他】

- ・教育や学習支援の充実
- ・習い事への支援
- ・買い物や飲食サービスの充実

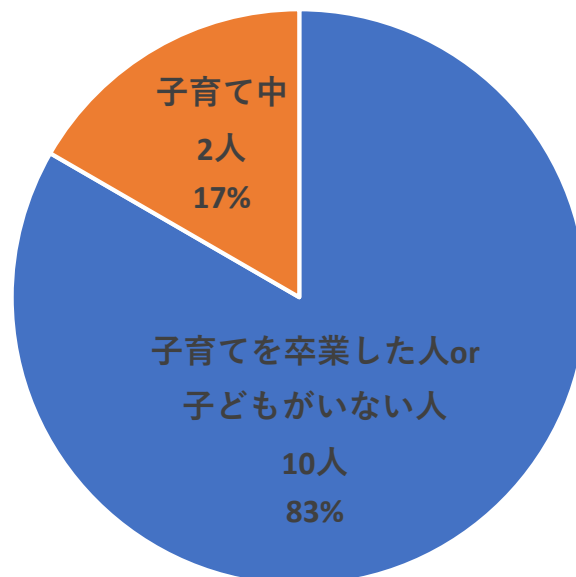
<Ⅳ 現在、仕事をしていない人> 回答者 12 人(子育て中 2 人、それ以外 10 人)

1 回答者の概要

(1)年 代



(2)子育て状況の別



①回答結果

就労していない人の回答者は 12 人で、年代は 60 代・70 代がそれぞれ 4 人と最も多く、30 代が 2 人、40 代・50 代がそれぞれ 1 人であった。

そのうち子育て中の人 が 2 人で、30 代と 40 代が各 1 人であった。

2 アンケート結果

(1)市内情報(新しいお店や地元産業)の入手方法(3 個まで選択)

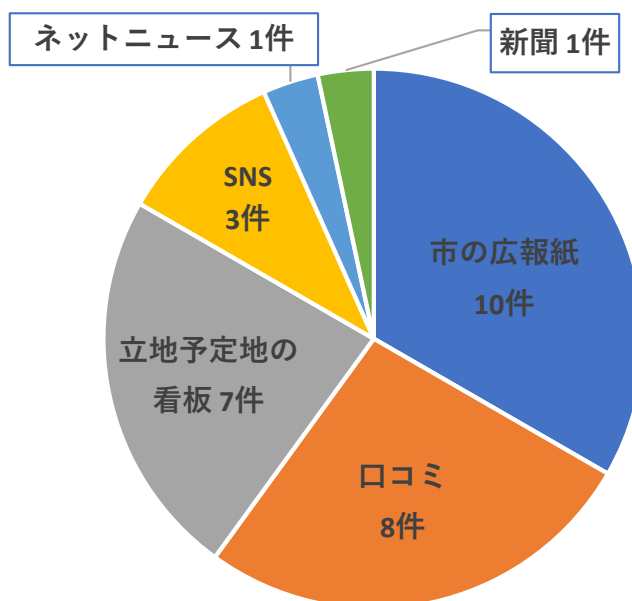
①回答結果

回答者 12 人のうち 10 人(83%)が「市の広報紙」を選択している。

次いで「口コミ」(8 件)、「立地予定地の看板」(7 件)の順となった。

SNS やネットニュースは少数にとどまり、従来の情報発信媒体や地域での情報共有が浸透していることがうかがえた。

20~30 代が多く回答している「就労中のアンケート」では「SNS」が 81%を占めていたため、回答者の年代構成が影響している可能性も考えられる。



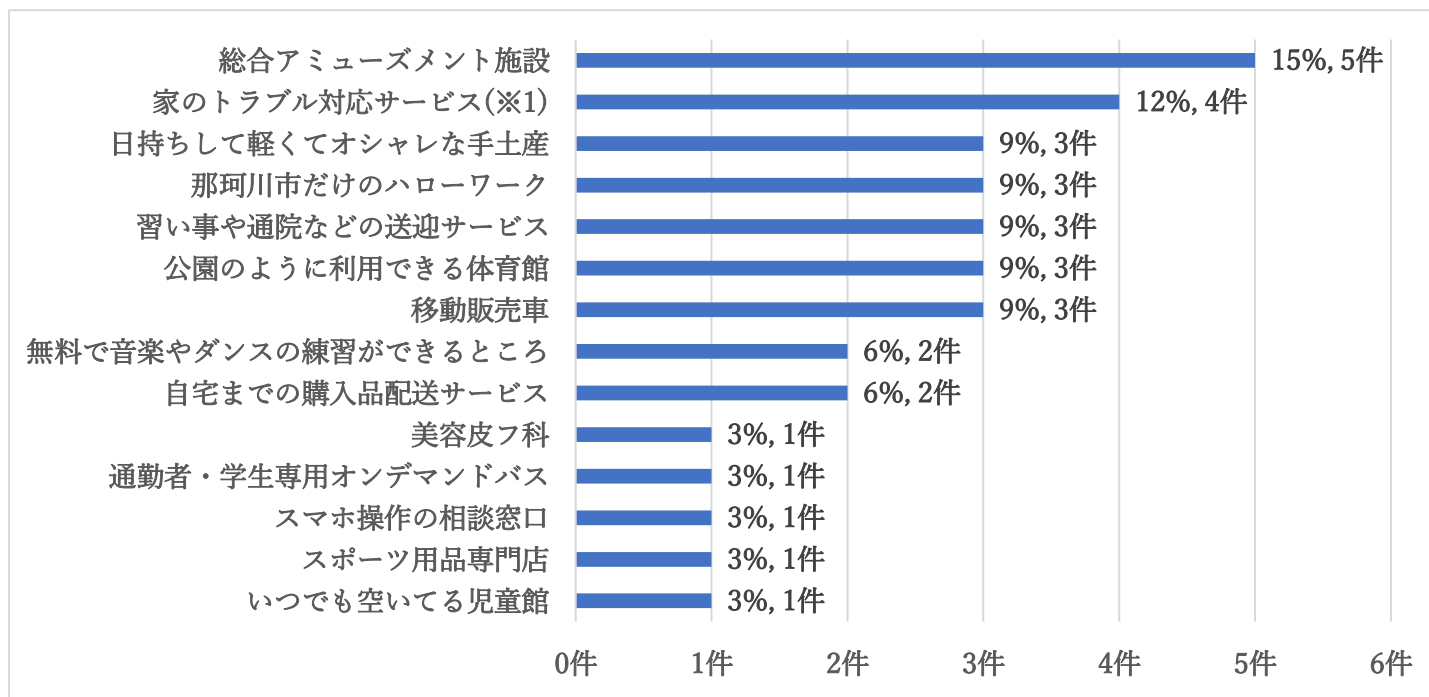
<Ⅳ 現在、仕事をしていない人> 回答者 12 人(子育て中 2 人、それ以外 10 人)

(2)市内にあったらいい商品やサービス (3 個まで選択)

①回答結果

「総合アミューズメント施設」「移動販売車」「那珂川市だけのハローワーク」「公園のように利用できる体育館」「習い事や通院などの送迎サービス」が比較的多く選ばれた。

日常生活の利便性向上と、楽しみや交流につながる施設の充実を期待する意見が多くみられた。



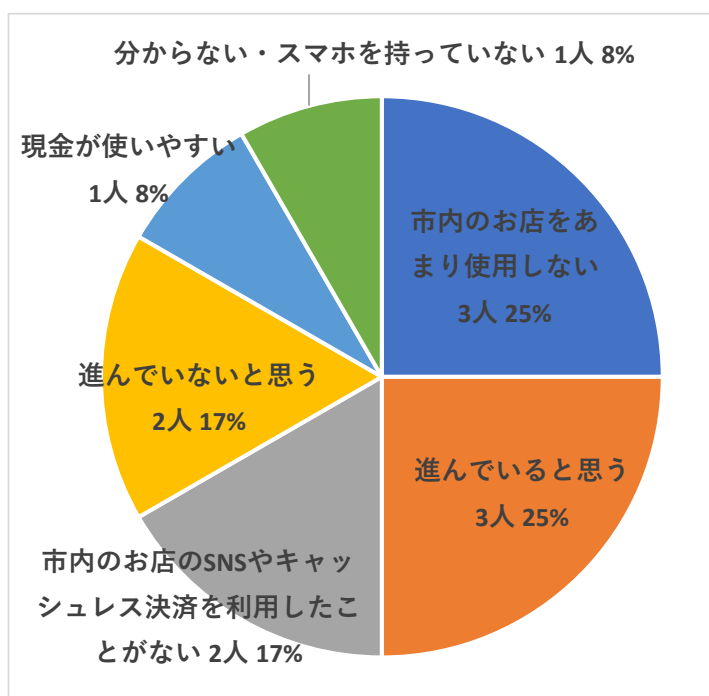
(※1)電気の取り換え・エアコン掃除・草むしりなど

(3)市内店舗のデジタル化 (SNS やキャッシュレス決済)

①回答結果

「進んでいる」と「市内でデジタルを使用しない」が最も多く、回答は分かれる結果となった。

「進んでいない」「キャッシュレス決済を使ったことがない」との回答もそれぞれ 2 人あり、デジタル化に対する認識や利用状況には個人差が見られた。



<Ⅳ 現在、仕事をしていない人> 回答者 12 人(子育て中 2 人、それ以外 10 人)

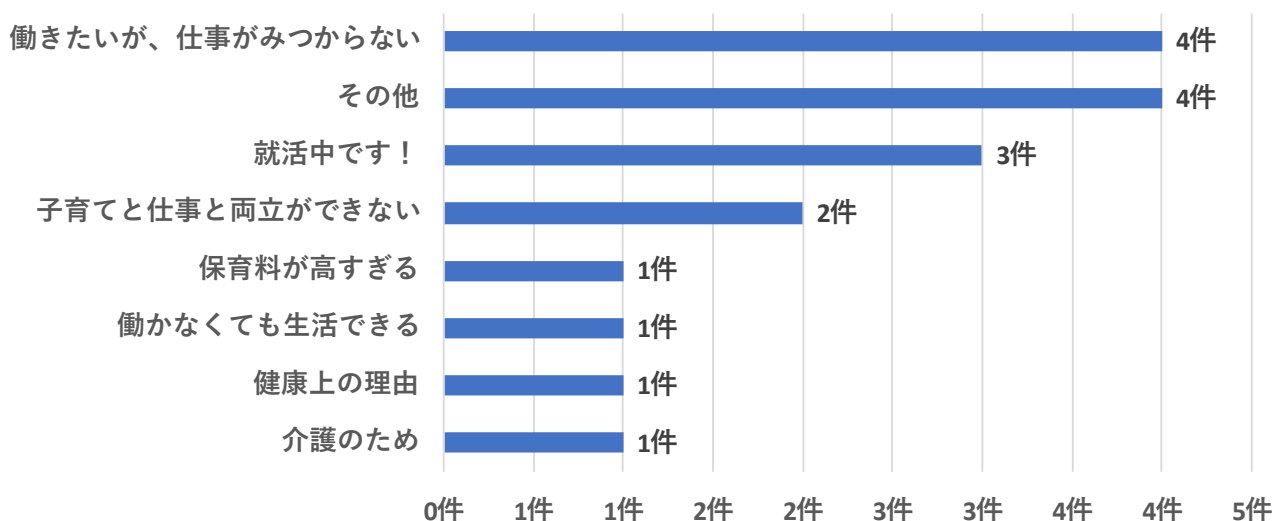
(4) 仕事をしていない理由 (2 つまで選択)

① 回答結果

「働きたいが仕事が見つからない」「就職活動中」が半数を占め、就労を希望しながら求職中である回答が目立った。「健康上の理由」や「介護」など、個々の事情による回答も見られた。

その他の内訳は、「定年退職」「起業を模索中」「障がいのある家族と同居」など。

『子育て中の 3 件』は、「子育てと仕事の両立ができない」2 人、「保育料が高すぎる」1 人という回答で、子育て世帯特有の課題もうかがえた。

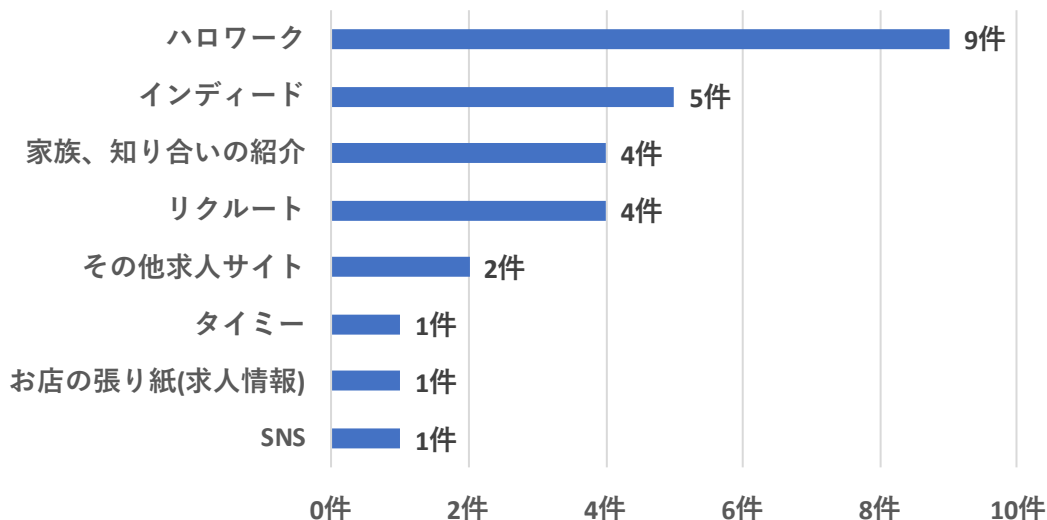


(5) 求人情報の入手方法 (3 つまで選択)

① 回答結果

求人情報の入手方法としては、「ハローワーク」で、次いで「インディード」が続いた。「家族・知り合いの紹介」「リクルート」の順となった。

回答数は少ないものの、ハローワークなどの公的機関に加え、民間求人サイトや人的ネットワークを活用する傾向も見られた。

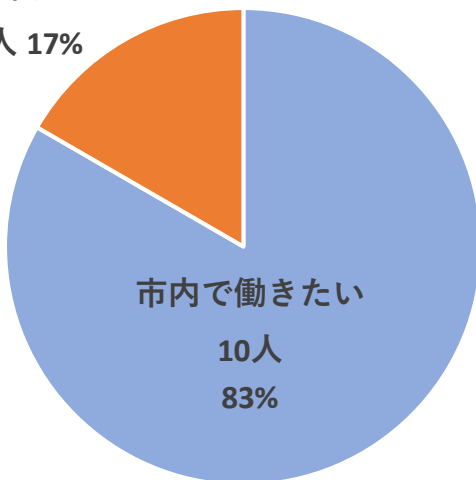


<Ⅳ 現在、仕事をしていない人> 回答者 12 人(子育て中 2 人、それ以外 10 人)

(6)希望の就労場所 (市内/市外)

市外で働きたい

2人 17%

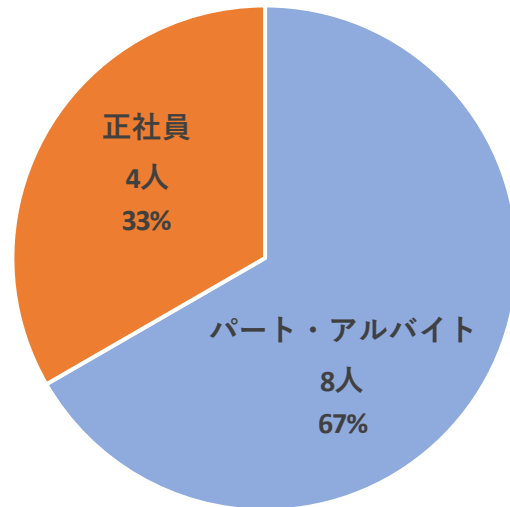


(7)希望の雇用形態

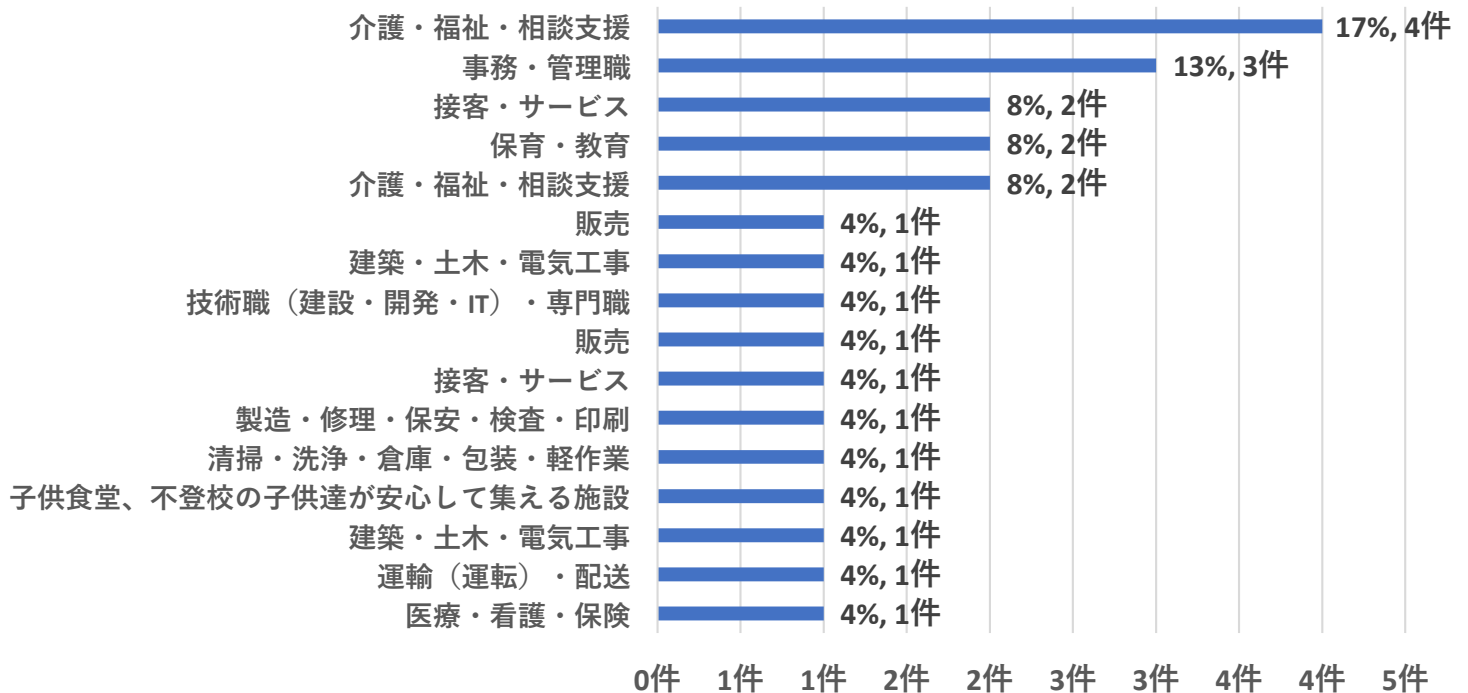
正社員

4人

33%



(8)希望職種 (2つ選択)



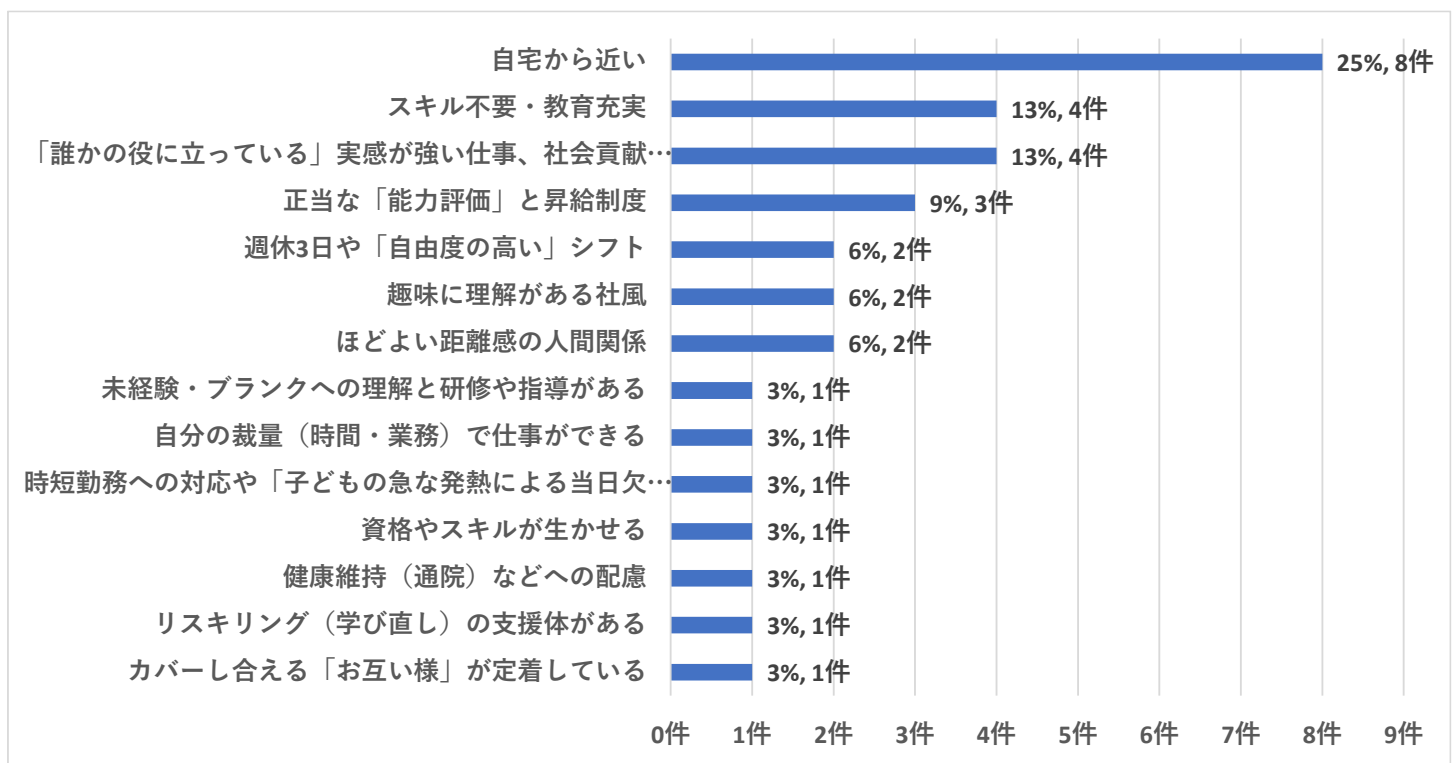
<Ⅳ 現在、仕事をしていない人> 回答者 12 人(子育て中 2 人、それ以外 10 人)

(9)理想の就業条件 (3 個まで選択)

①回答結果

理想の就業条件としては、「自宅から近い」(8 件) が最も多く、通勤の利便性を重視する傾向が見られた。次いで、「スキル不要・教育充実」、「『誰かの役に立っている』実感が強い仕事・社会貢献を感じられる仕事」(各 4 件)、「正当な能力評価と昇給制度」(3 件)が続いた。

待遇面だけでなく、働きがいや教育体制、柔軟な働き方、子育てや健康への配慮など、多様な就業条件を重視する回答も見られた。



<Ⅳ 現在、仕事をしていない人> 回答者 12 人(子育て中 2 人、それ以外 10 人)

(10)起業するとしたらどんな職業 (自由記述)

①回答結果

飲食店やカフェ、商品開発、IT 関係、衣料品など業種は多岐にわたった。

就労支援や子ども食堂、不登校支援など地域や社会への貢献を目的とした事業や、社員が楽しく働ける会社づくりなど、人を大切にする視点を含む回答も見られた。

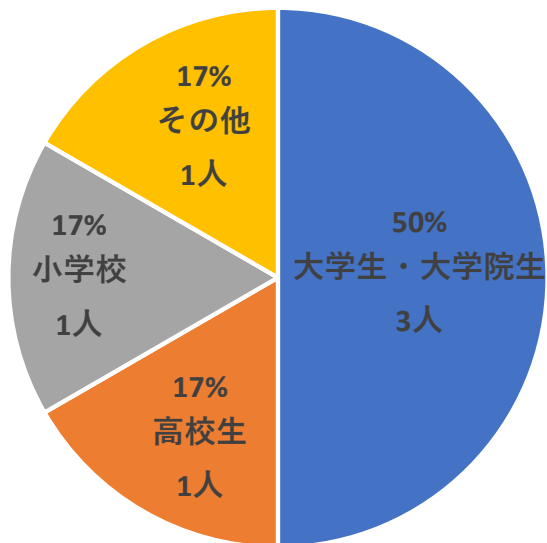
②主な意見 (要約)

自由記述では、次のような意見が寄せられた。

- ・子どもの未来を守る居場所づくり、ケアサービス
- ・就労支援
- ・従業員が楽しく働ける職場
- ・山や自然を活用した子どもの遊び・体験の場づくり
- ・飲食店
- ・カフェ、食器店
- ・商品開発
- ・IT 関係
- ・衣料品

1 回答者の概要

(1) 所 属



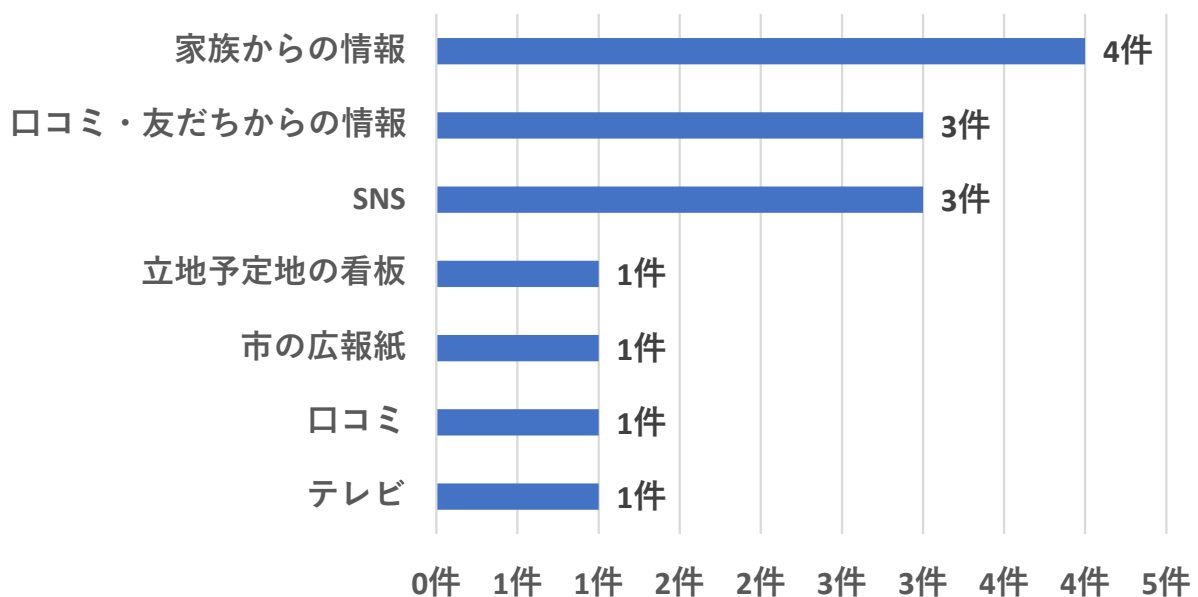
2 アンケートの結果要

(1) 市内情報（新しいお店や地元産業）の入手方法（3 個まで選択）

①回答結果

「家族からの情報」（4 件）が最も多く、次いで「SNS」（3 件）、「口コミ・友だちからの情報」（3 件）となった。

SNS などのデジタル媒体だけでなく、家族や友人など身近な人と通じた情報も、学生にとって重要な情報源となっていることがうかがえる。

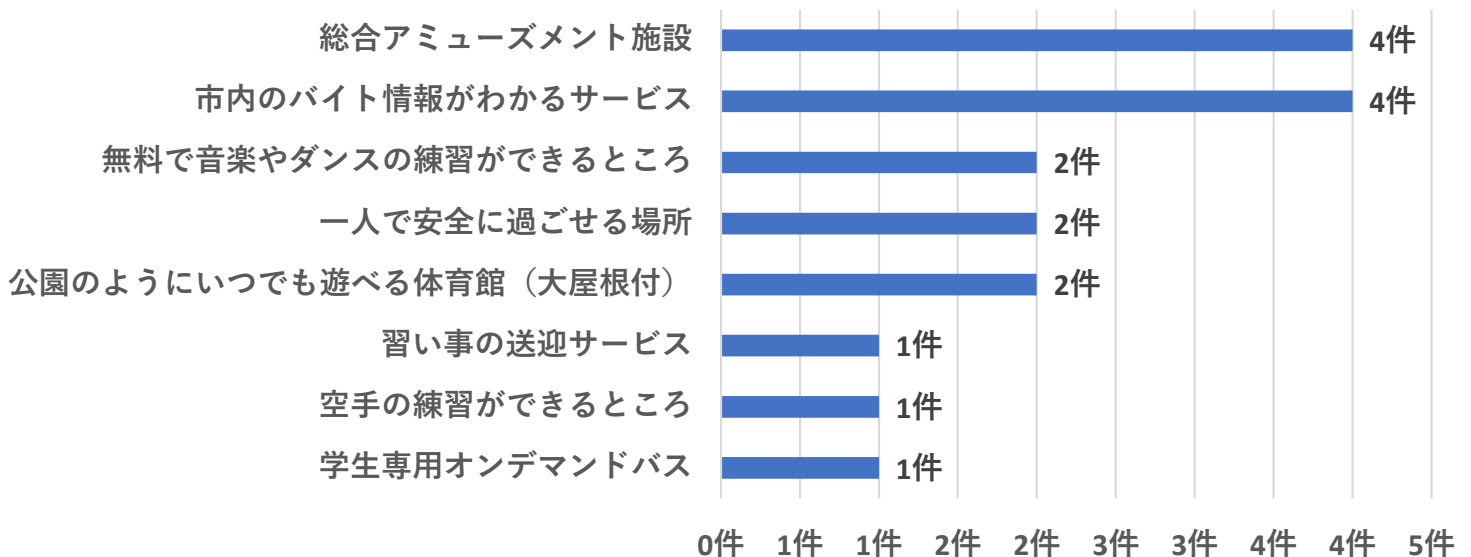


(2)市内にあったらいいサービス・商品 (3 個まで選択)

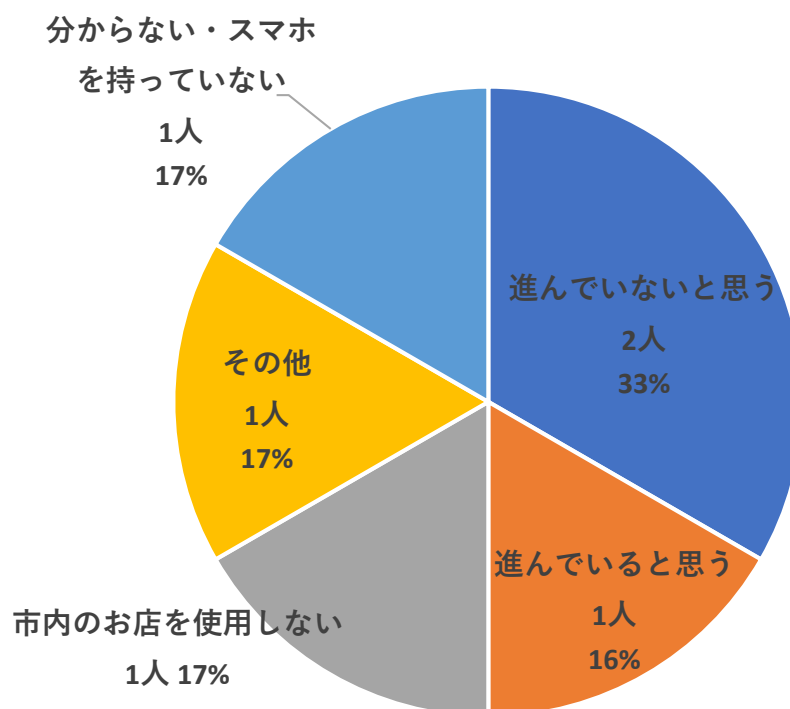
①回答結果

「総合アミューズメント施設」と「市内のアルバイト情報が分かるサービス」がそれぞれ 4 件と多かった。

また、体育館や音楽・ダンスの練習場所、一人で安全に過ごせる場所、習い事の送迎サービスなど学生の日常生活に身近な施設やサービスを求める意見がみられた。



(3)市内店舗のデジタル化 (SNS やキャッシュレス決済)



(4)将来、どんな分野で仕事をしたいか（2 個まで選択）

①回答結果

将来就きたい仕事については、飲食、福祉、医療、ものづくりなど、様々な分野の回答がみられた。特定の分野に集中せず、希望する職種は多岐にわたっている。

- ・ 語学・国際
- ・ 先生・教諭・学校・教育
- ・ 公務員
- ・ 弁護士・会計士
- ・ 機械・電気・化学
- ・ 建築・土木・インテリア
- ・ 健康・スポーツ
- ・ 料理・調理・パン・菓子づくり・食・栄養・飲食店
- ・ 写真屋
- ・ ホテルマン
- ・ アニメ制作

※上記各 1 件ずつ回答あり

(5)将来、自分が社長になるなら（自由記述）

①回答結果

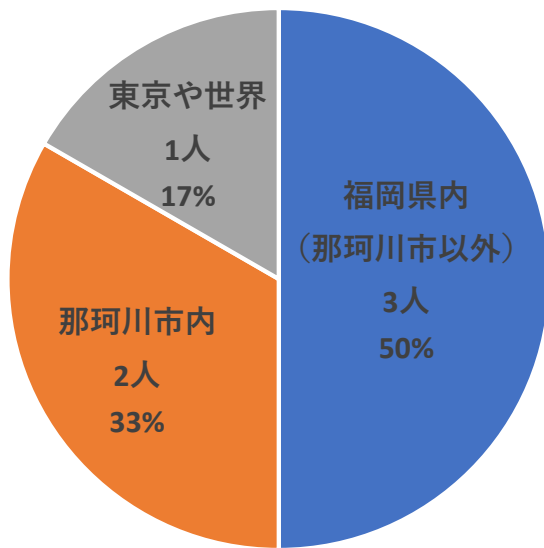
「アニメ制作会社」や「ホテル経営」「AI やドローンを活用した農業 DX」など、様々な分野の事業が挙げられた。また、「お客様も従業員も大切にできる会社」といった回答もあり、事業内容だけでなく、人を大切にする経営への考えもうかがえた。

②主な意見（要約）

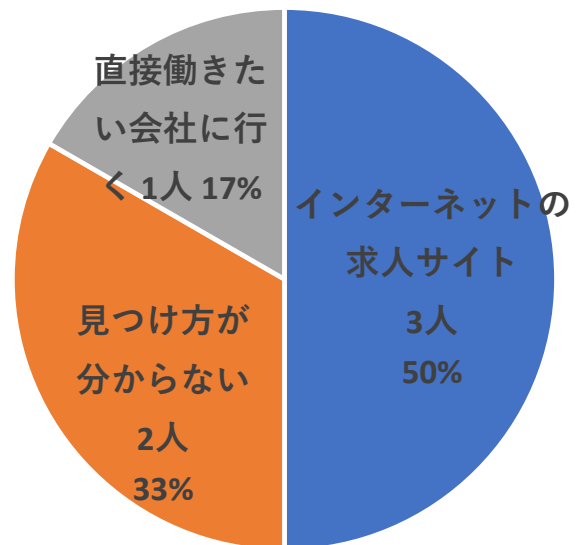
自由記述では、次のような意見が寄せられた。

- ・ アニメーション制作会社
- ・ 大規模ホテル運営
- ・ AI やドローンを活用した農業 DX の会社
- ・ お客様と従業員を大切にする会社

(6)どこで働きたい？



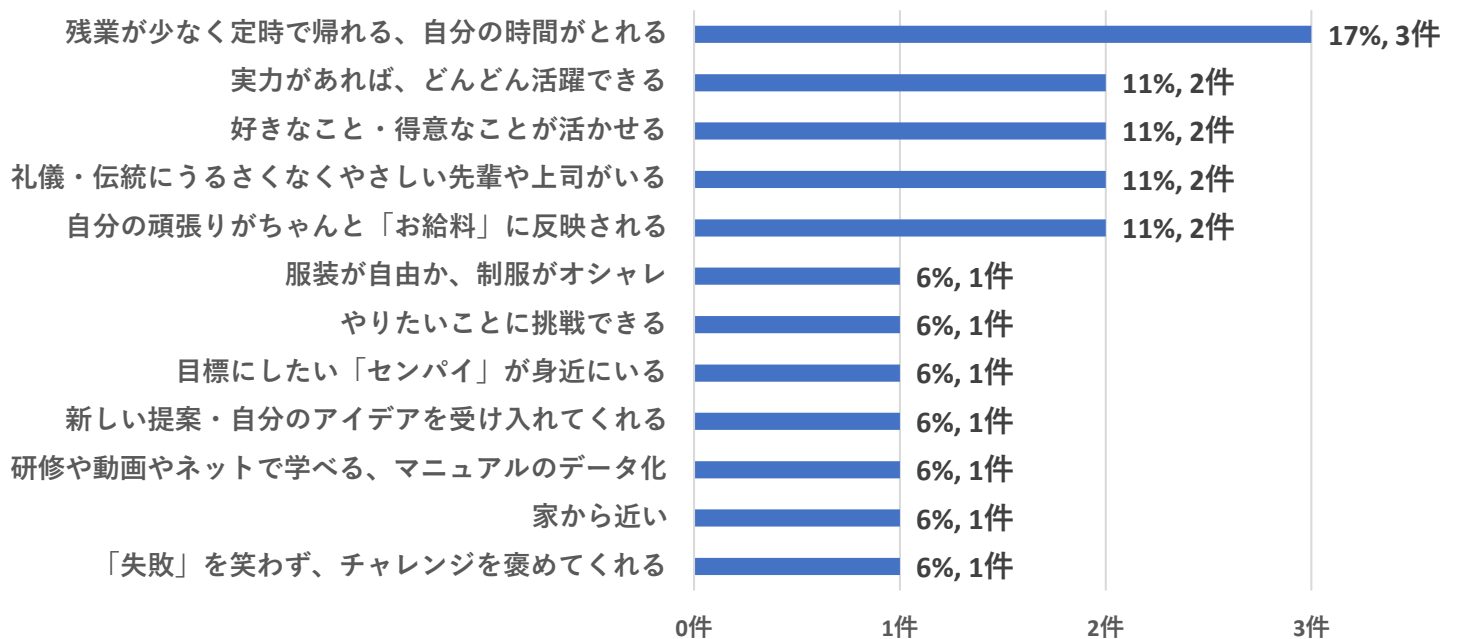
(7)将来、仕事を探すときの方法



(8)こんな会社だったら働きたいと思う条件 (3個まで選択)

①回答結果

新しい提案を受け入れること、挑戦を評価すること、身近に目標となる先輩がいることなど、働きやすさに加え、成長や挑戦を支える職場環境を求める意見がみられた。



(9)職業体験・働いている人にインタビューできれば参加したい？

○参加したい 6 人 (100%)

①回答結果

回答者 6 人全員が「参加したい」と回答した。回答者数は少ないものの、学生が実際の仕事や働く人の話に触れる機会に高い関心を持っていることがうかがえる。

(10)自由に市の予算を使えらしたら (自由記述)

①回答結果

回答者数は 6 人と少ないものの、多様な意見が寄せられた。学生が、自身の生活に身近な施設の充実だけでなく、将来のまちのにぎわいや産業の発展にも関心を持っていることがうかがえる。

②主な意見 (要約)

自由記述では、次のような意見が寄せられた。

- ・ 駅前公園での音楽イベントの開催
- ・ 人気店の誘致
- ・ 子ども同伴で利用できる施設や保育環境の充実
- ・ 若者への投資・支援の充実
- ・ 親子で利用できるトレーニング施設の整備
- ・ スタートアップ企業や大学・研究施設の誘致支援

(11) 市への期待～10 年後～

①回答結果

10 年後の那珂川市については、商業施設やテーマパークなど、人が集まるまちを期待する意見のほか、デジタル化や地域交流など、将来を見据えた多様な意見が寄せられた。

そのほか、ゲームやアニメなどを学べる学校や企業があるまちなど、学生ならではの将来像が示された。

②主な意見 (要約)

自由記述では、次のような意見が寄せられた。

- ・ DX・AI の活用が進んだまち
- ・ 世代を超えた地域交流が盛んなまち
- ・ ゲーム・アニメなどのコンテンツ産業が集まるまち
- ・ 大型商業施設やアクティビティ施設が充実したにぎわいのあるまち
- ・ 大型テーマパークのあるまち